

す  
健やか

だ  
だんらん

ち  
地産地消

徳島県学校食育指導プラン Ⅱ

平成27年3月

徳島県教育委員会



## はじめに

平成17年に制定された「食育基本法」において、食育は、「生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきもの」と位置付けられました。子供たちが豊かな人間性を育み、「生きる力」を身に付けるためには、何よりも「食」が重要であるとも示されました。

徳島県では、平成19年に「徳島県食育推進計画」を、平成23年には「第2次食育推進計画」を策定し、県民運動として食育を推進しております。この計画は、徳島県民が生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、家庭、学校、保育所、地域等を中心に関係者が連携して、食育を推進する基礎となるものです。

徳島県教育委員会では、「徳島県食育推進計画」に基づき、「徳島県学校食育指導プラン『す・だ・ち』」を策定して、食育を推進してまいりました。その結果、全市町村教育委員会において学校食育推進委員会が設置され、各学校で食育全体計画、年間指導計画が作成されるなど、食育指導体制が整備されてきました。

現行の学習指導要領では、総則に「学校における食育の推進」について規定されています。食育を「各教科等の特質において適切に行われるよう努めること」とし、関連する各教科で食育に関する記述の充実が図られました。生涯にわたり楽しく明るい生活を営む基礎づくりを目指し、学校教育活動全体を通じて行うことが必要であると述べられています。

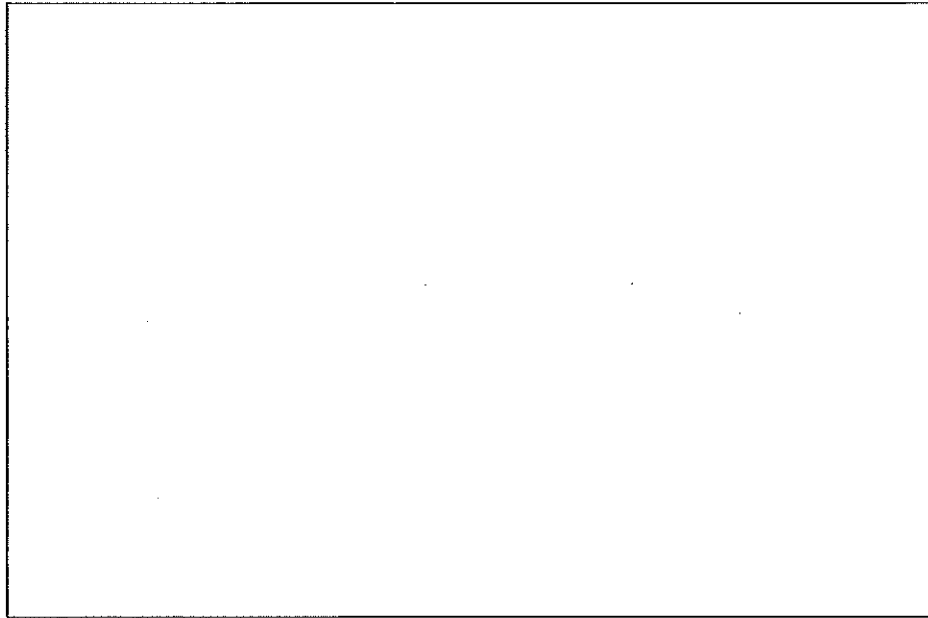
本書は、平成20年3月に発行した「徳島県学校食育指導プラン『す・だ・ち』」を学習指導要領等を踏まえて改訂し、実践事例や学校給食における食物アレルギー対応について加筆したものです。

各学校におきましては、子供たちの健やかな体と豊かな心を育むために、本プランを活用し、家庭や地域と連携・協力して、徳島ならではの地域に根ざした食育を積極的に推進されるようお願いいたします。

平成27年3月

徳島県教育委員会 教育長 佐野 義行

## 序 「すだち」健やか・だんらん・地産地消



表紙絵（児童絵画）

徳島県は、豊かな自然と新鮮でおいしい食材に恵まれており、「お接待」で知られる温かい人情があふれる土地柄です。「徳島育ち」の子供たちは、元気いっぱい「生きる力」がみなぎっています。

しかし、近年、全国的に、朝食を食べない「朝食欠食」や子供だけで食事をとっている「孤食」の増加、あるいは脂質の過剰摂取や野菜摂取不足などによる栄養バランスの偏り、肥満傾向の増加など、子供の食生活や健康状態について懸念される点が指摘されています。

子供の頃に身に付いた食習慣を大人になって改めることは非常に困難であると言われており、子供のうちから望ましい食習慣を身に付けることは極めて重要です。

このプランは、子供たちが

- ・生涯にわたって健康な生活をおくるために
  - ・温かい団らんの中で
  - ・新鮮でおいしい徳島の食材を活用した食育を展開し
- 元気いっぱいの「徳島育ち」の子供をはぐくむ食育指導プランです。

# 目 次

## はじめに

### 「すだち」健やか・だんらん・地産地消

#### 第1章 食育の位置付け

- 1 食育とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 食育の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - (1) 食育基本法 (2) 学習指導要領 (3) 徳島県食育推進計画
- 3 教育関係者の役割と責務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

#### 第2章 食育の目標

- 1 学校における食育推進目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 2 食育における健康教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3 食育の指導目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

#### 第3章 学校の食育推進体制

- 1 校内の食育推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 市町村の学校食育推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 3 栄養教諭の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

#### 第4章 食育全体計画・年間指導計画

- 1 食育全体計画の作成に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 年間計画の作成に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 3 食育全体計画例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
  - (1) 幼稚園 14 (2) 小学校 15 (3) 中学校 16 (4) 高等学校 17 (5) 特別支援学校 18
- 4 食育年間指導計画例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
  - (1) 幼稚園 19, 20 (2) 小学校 21～26 (3) 中学校 27～29

#### 第5章 学校給食における地産地消

- 1 地産地消の教育的意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 2 教育としての地産地消の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

#### 第6章 学習指導例

[学習指導案と指導資料等]

- 1 小学校指導例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
  - (1) 第2学年 生活科「やさいをそだてよう」・・・・・・・・・・・・ 32
  - (2) 第4学年 体育科「育ちゆく体とわたし」・・・・・・・・・・・・ 36
  - (3) 第5学年 家庭科「ゆで野菜のサラダをつくろう」・・・・・・・・ 40
  - (4) 第1学年 特別活動「おはしめいじんに なろう」・・・・・・・・ 44
  - (5) 第2学年 特別活動「すききらいしないで食べよう」・・・・ 48
  - (6) 第3学年 特別活動「朝ごはんを食べよう」・・・・・・・・・・・・ 52

(7) 第4学年	特別活動「徳島育ちの食べ物を食べよう」	56
(8) 第5学年	特別活動「栄養バランスのよい朝ごはんを食べよう」	60
(9) 第6学年	特別活動「おやつのとり方を考えよう」	64
2	中学校指導例	
(1) 第1学年	技術・家庭科「わたしが作る、わたしの弁当」	68
(2) 第3学年	保健体育科「健康な生活と病気の予防」	72
(3) 第1学年	特別活動「朝ごはんて元気な一日」	76
(4) 第2学年	特別活動「適切な水分補給の方法を考えよう」	80
(5) 第3学年	特別活動「受験に向けた生活習慣の改善」	84
3	高等学校指導例	
(1) 第1学年	特別活動「コンビニでバランスのよい昼食」	88
(2) 第2学年	特別活動「正しいダイエットで、健康でスマートに」	92
(3) 第3学年	特別活動「もっと野菜！いろんな野菜！」	96
4	特別支援学校指導例	
(1) 小学部	生活単元「野菜入りカップケーキをつくろう」	100
(2) 中学部	生活単元「育てた野菜で朝ごはんをつくろう」	104
(3) 高等部	家庭科「バランスのよい食事をしよう」	108

## 第7章 給食時指導例

1	小学校指導例	
(1)	「小松菜を食べよう」	112
(2)	「感謝して食べよう」	113
(3)	「夏野菜のひみつ」	114
(4)	「徳島の魚～かます～」	115
(5)	「地産地消ってなあに」	116
(6)	「どれがほうれんそう？」	117
2	中学校指導例	
(1)	「防ごう！熱中症」	118
(2)	「食事はトレーニング？」	119
(3)	「運動と食事」	120
3	特別支援学校指導例	
(1)	「農場でとれた野菜を味わおう」	121

## 第8章 食物アレルギーへの対応

1	学校給食における食物アレルギー対応の考え方	122
2	学校給食における食物アレルギー対応の流れ	122
3	食物アレルギーによる緊急時の対応	123

# 第1章 食育の位置付け

## 1 食育とは

食育基本法において、食育とは、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」ことであるとしている。

## 2 食育の位置付け

### (1) 食育基本法

食育基本法では、食育の位置付けについて、「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」とした上で、特に子供たちに対する食育については「心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるもの」としている。

### (2) 学習指導要領

総則には、「学校における体育・健康に関する指導は学校の教育活動全体を通じて適切に行う」とあり、食育の推進については、「体育科の時間はもとより、家庭科、特別活動においてもそれぞれの特質に応じて適切に行うように努める」としている。また、小中学校の「特別活動」では、学級活動の内容として「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」が挙げられている。

### (3) 第2次徳島県食育推進計画

徳島県では、県民が生涯にわたり、健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむことができるよう、家庭、学校、保育所、地域、職場等を中心に、関係者が連携して、食育を推進するための基礎となるものとして、「第2次徳島県食育推進計画」を策定し、この計画の中に「学校における食育の推進」を位置付けている。

## 3 教育関係者の役割と責務

食育基本法第5条では、教育関係者等の役割について、「食育は、…子供の教育、保育等を行う者にあつては、教育、保育等における食育の重要性を十分自覚し、積極的に子供の食育の推進に関する活動に取り組むこととなるよう、行われなければならない。」としている。

また、食育基本法第11条では、教育関係者等の責務として、「食に関する関心及び理解の増進に果たすべき重要な役割にかんがみ、基本理念にのっとり、あらゆる機会とあらゆる場所を利用して、積極的に食育を推進するよう努めるとともに、他の者の行う食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。」としている。

## 第2章 食育の目標

### 1 学校における食育推進目標

第2次徳島県食育推進計画に基づき、学校における食育の推進目標を次のとおり定める。

学校は、食、運動、生活リズム等の生活習慣を育成し、さまざまな学習や体験活動を通して食に関する知識と食を選択する力を習得するために重要な役割を担っている。このため、学校において魅力ある食育を推進し、子供の健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るよう努める。

#### (指導の充実)

##### (1) 食育全体計画の策定

給食の時間、家庭科や体育科をはじめとする各教科、特別活動、総合的な学習の時間等において食に関する指導の充実を促進し、学校の教育活動全体で組織的・計画的に推進する。そのために、子供が食について計画的に学ぶことができるよう、各学校において食に関する指導の全体計画を策定する。

##### (2) 食育推進体制の整備

学校長のリーダーシップの下に関係教職員が連携・協力しながら、食育リーダーが中心となって校内の推進体制を整備し、全教職員で組織的な取組を進める。

##### (3) 体験活動の推進

地域の生産者団体等と連携し、農漁業体験等、子供の様々な体験活動を推進する。

##### (4) 市町村推進体制の整備

指導の充実を図るため、栄養教諭を計画的に配置し、市町村の学校の食育推進体制を整備する。

#### (学校給食の充実)

##### (5) 「生きた教材」としての学校給食の活用

子供の望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため、学校給食の献立内容の充実を促進するとともに、各教科等においても学校給食が「生きた教材」としてさらに活用されるよう取り組む。



## (6) 学校給食における地場産物の活用

学校給食に地場産物を活用したり地域の郷土食や行事食を提供したりすることを通して、食料生産に携わる人々への感謝の気持ちや、地域の文化、伝統に対する関心と理解を深める。また、生産者団体等と連携し、学校給食における地場産物の活用の推進を図りつつ、地域の生産者や生産に関する情報を子供に伝達する取組を促進する。

## (家庭・地域連携)

## (7) 家庭や地域と連携した食育の推進

子供の食習慣、運動習慣等の望ましい生活習慣の育成や、健康状態の改善を図るため、家庭や地域と連携し、学校教育活動全体を通じた食育の推進に努める。

## 2 食育における健康教育目標

生涯にわたり、健康な生活を送るために、基本的な生活習慣を身に付け、自分の体の変化について知り、正しい食生活を実践する態度を育てる。

## 3 食育の指導目標

文部科学省の「食に関する指導の手引」において、「食に関する指導の目標」として、次のように示されている。

- 食事の重要性  
食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- 心身の健康  
心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
- 食品を選択する能力  
正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
- 感謝の心  
食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。
- 社会性  
食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
- 食文化  
各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

# 第3章 学校の食育推進体制

## 1 校内の食育推進体制

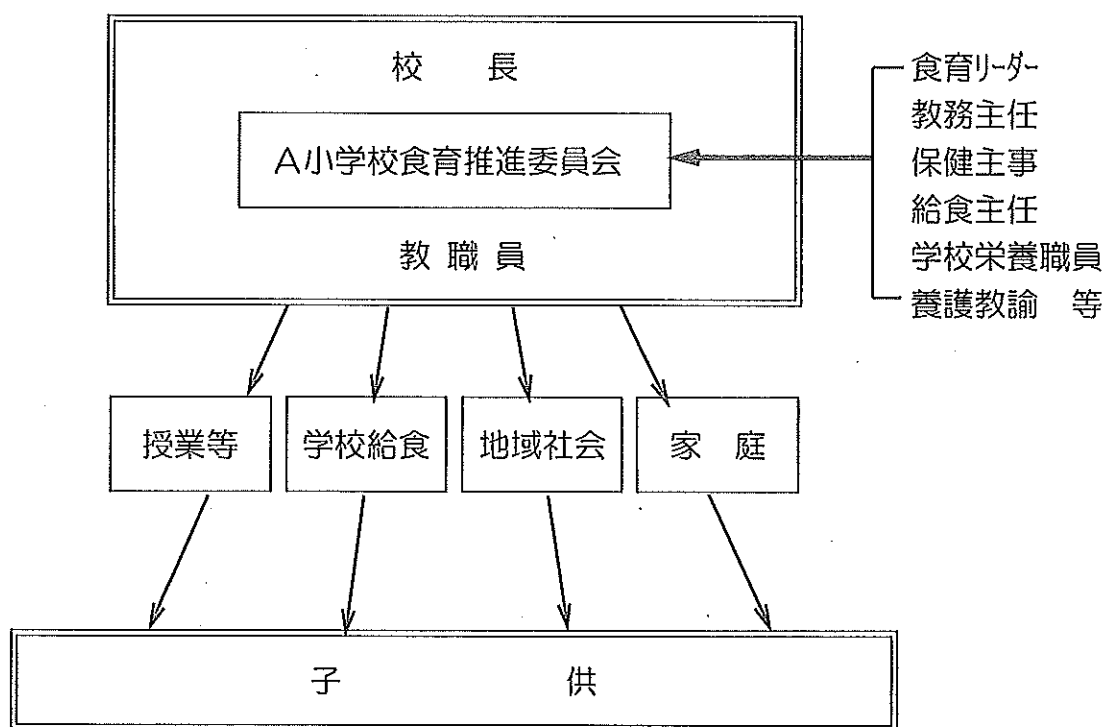
### (1) 学校食育リーダー

学校に、校内の食育推進の中核的な役割を担う「学校食育リーダー」を置く。学校食育リーダーは、食育の全体計画作成時や授業実践の際の調整、家庭や地域との連携におけるコーディネーターとして、学校における食育をより機動的に推進するために重要な役割を担う。

### (2) 校内食育推進委員会

校内食育推進委員会を編成し、この組織が中心となって食育の全体計画を作成し、食育を推進する。

食育推進委員会は、教務主任や保健主事、給食主任、栄養教諭、学校栄養職員、家庭科教諭、養護教諭等で学校の実態に応じて組織する。



学校における食育は学級担任や教科担任による実施が中心となるため、食育推進委員会は全体計画に沿って食に関する指導が円滑に行われるようチームティーチングなどの調整や、ゲストティーチャーの招へい等、学校内外において連絡・調整を図り、その推進に努める。

### (3) 個別指導体制

担任教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、保護者、学校医等との連携体制を整え、個別指導体制を確立する。

### (4) 家庭・地域との連携体制

P T Aの組織や保護者会、学校保健委員会、学校評議員制度など、学校と地域との連携組織を生かし、家庭や地域との連携・協力体制を確立する。

### (5) 小児肥満の健康管理システム

生活習慣病につながるおそれのある肥満を防止する取組として、学校が保護者や地域の医療機関と連携して取り組んでいる「小児肥満の健康管理システム」の充実を図る。

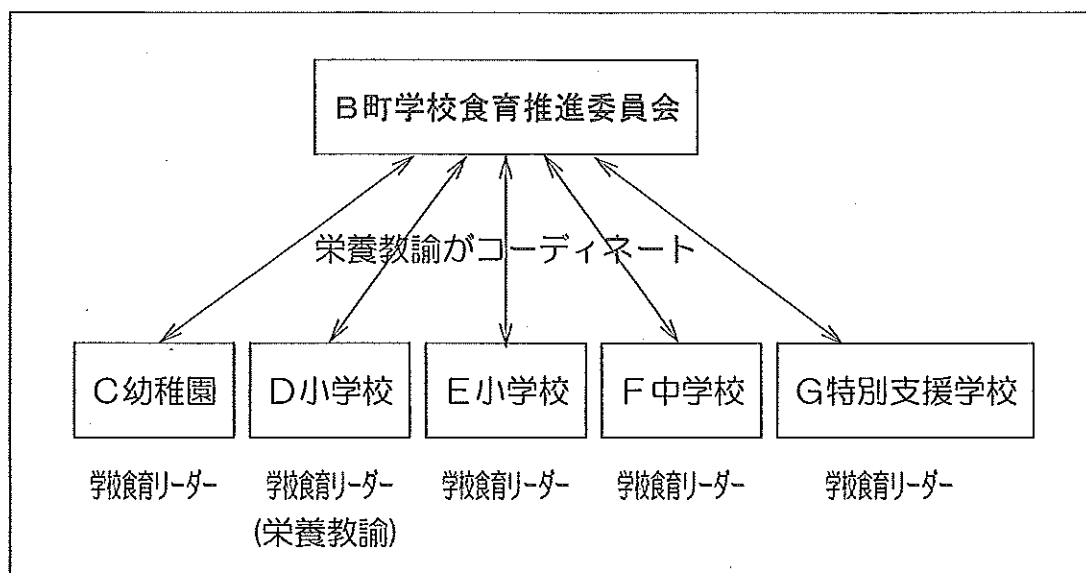
### (6) ふれあい交流給食

食を通じたコミュニケーションを図ることにより食の楽しさを実感させ、子供たちに精神的な豊かさをもたらすため、これまで取り組んできた保護者や地域の方々との交流を目的とした給食の時間における取組を一層推進し、定期的に交流する体制を確立する。

## 2 市町村の学校食育推進体制

### (1) 市町村学校食育推進委員会

市町村内の小学校、中学校、特別支援学校等の学校食育リーダーが委員となつて、学校食育推進委員会を組織し、市町村内の学校における食育を推進するための企画・調整・連絡を行う。各市町村に配置した栄養教諭が事務局を担当し、委員会をコーディネートする。



### (2) 学校給食における地場産物の活用

市町村学校食育推進委員会において、学校給食献立への地場産物の積極的な活用を図るとともに、「生きた教材」としての食に関する指導への活用を推進する。

### (3) 家庭・地域との連携の推進

市町村学校食育推進委員会において、子供の食習慣等の望ましい生活習慣の育成や、健康状態の改善を図るため、市町村PTA連合会や市町村学校保健連合会等の組織との連携を推進する。

また、地域の生産者団体等と連携し、農漁業体験等、子供の様々な体験活動を推進する。

### 3 栄養教諭の役割

学校給食の管理と食に関する指導を一体的に担う栄養教諭を、学校食育リーダーとして、また、市町村の学校における食育推進の中核的な役割を担うコーディネーターとして配置する。

#### (1) 市町村の「学校における食育」の推進

市町村学校食育推進委員会のコーディネーターとして、各学校において幼児児童生徒が系統的・計画的に学ぶための食育全体計画策定を支援するとともに、市町村内の各学校における食育を推進するための企画・調整を行う。

また、学校長その他の教職員に対して、食の観点から把握した子供の生活実態や食育の取組事例、学校給食の現状や課題等について積極的に情報提供を行う。

#### (2) 「生きた教材」としての学校給食の活用

学校給食の献立内容の充実を推進するとともに、各教科等において学校給食が「生きた教材」としてさらに活用されるよう取り組む。

#### (3) 学校給食における地場産物の活用

地場産物を学校給食献立に積極的に活用するとともに、「生きた教材」として食に関する指導に一体的に活用する取組の企画・調整を行う。

給食の時間等を活用し、献立の地場産物や郷土食・行事食などを用いて、生産に携わる人々や食文化等についての指導を行う。

#### (4) 家庭・地域との連携の推進

子供の食習慣等の望ましい生活習慣の育成や健康状態の改善を図るため、学級担任や養護教諭と連携して実態把握に努め、市町村PTA連合会や市町村学校保健連合会等の組織との連携を企画・調整して、家庭への啓発を行う。

また、地域の生産者団体等と連携し、農漁業体験等、子供の様々な体験活動を企画・調整するとともに、地域の食に関する行事等について情報収集を行い、地域の食育の中核としての役割を担う。

#### (5) 食に関する指導

食に関する指導のコーディネーターとして、教職員が食育についての正しい理解・認識をもつことができるようにするとともに、食育に関する情報を積極的に提供し、学級担任等と連携して集団的な食に関する指導を行う。

肥満、痩身、偏食、食物アレルギーなどの幼児児童生徒及び保護者、スポーツをする幼児児童生徒及び保護者に対して、個別指導を行う。

## 第4章 食育全体計画

### 1 食育全体計画の作成に向けて

#### (1) 食育全体計画のねらい

- ① 学校教育活動全体の中で各教科等相互の有機的な関連を図り、計画的に体系的な食育を行う。
- ② 学校の教職員全体で食育に取り組む上で、学校全体の食育の目標や具体的な取組について共通理解をもち、組織的に食育を展開する。
- ③ 学校・家庭・地域が一体となって食育を進める上での積極的な参加や協力の方策を具体化し、実践化を図る。

#### (2) 食育全体計画作成上の留意事項

- ① 幼児児童生徒・保護者・地域の実態  
生活実態や食生活の状況・健康診断結果等から、子供の食をめぐる問題点を把握し、幼児児童生徒の実態を簡潔にまとめる。  
また、地理、産業、文化等の地域の実態や、保護者の願いについて簡潔にまとめる。
- ② 食育の指導目標  
子供や地域の実態等を踏まえ、文部科学省「食に関する指導の手引」に示されている目標を参考に、学校全体としての食育の指導目標を設定する。  
各学年の食育の目標設定にあたっては、幼児児童生徒の発達段階等を考慮し、各学年の具体的な目標を設定する。  
その際、学年を通じて一貫性をもたせ、段階的、系統的に、かつバランスのある指導が行われるようにする。
- ③ 各教科等における食に関する指導内容
  - ア 各教科・科目  
食育の指導目標に照らして学年ごとに食に関する指導内容を抽出し、それらを年間を通しての計画として整理する。食に関する指導にかかわる単元名や題材名を記入するとともに食育の視点を明確にしておく。  
なお、特別支援学校については領域・教科を合わせた指導等における食にかかわる単元名や題材名について記述する。
  - イ 道徳  
四つの視点の中で、食育の指導目標に照らし関連の深い内容項目について記述する。
  - ウ 特別活動  
学級（ホームルーム）活動及び給食の時間・児童会（生徒会）活動・クラ

ブ活動・学校行事において、食育の指導目標に照らしそれぞれのねらいに沿って、より充実した活動となるよう計画する。

#### エ 総合的な学習の時間

食育の指導目標に照らし「国際理解」「情報」「環境」「福祉・健康」「郷土・地域」などの課題に応じて学習する内容を計画する。

#### ④ 給食の時間における食に関する指導

給食実施校においては、給食の時間における指導を充実させることが、食育の推進において重要となる。食育の指導目標に基づき、学年ごとの目標や指導の重点を定める。

指導内容としては、技能や態度に関わること（給食の準備や後片付け、基本的なマナーなど）、献立内容や食材に対する興味・関心や基礎的な知識に関わることなどが考えられる。

#### ⑤ 地場産物（県内産）の活用

地域の特色や教育的意義、時期等を考慮し、活用する地場産物を記述する。

#### ⑥ 個別相談指導

偏食傾向、肥満傾向等のある幼児児童生徒、食物アレルギーのある幼児児童生徒、スポーツをする幼児児童生徒に対する個別相談内容等について記述する。

#### ⑦ 家庭・地域との連携

家庭や地域との連携の方策がわかるよう、給食だよりや保健だよりの発行、地域の方々との交流給食、料理教室開催など具体的に記述する。

#### ※ 整理・調整

効果的に食育を推進するため、校内食育推進委員会において、実施時期や時数を整理・調整する。

## 2 年間指導計画の作成に向けて

各学年の食に関する指導意図を明確にするために、食育全体計画を踏まえ、年間指導計画を作成する。年間指導計画には、6つの指導目標ごとに具体的な目標を設定する。その上で、学習活動を目標ごとに整理し、偏りがないか確認して、取組のバランスを調整することも重要である。

各教科等における指導内容に加えて、献立作成の配慮、家庭・地域との連携等を記入することにより、教科横断的に指導したり給食を効果的に教材化したりするための手立てとなる。

3 食育全体計画例 平成 年度 ○○幼稚園食に関する指導の全体計画

○○幼稚園

<p><b>幼児の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなことに興味を示し意欲的に取り組む。中には根気強く取り組むことが苦手な幼児や体力のない幼児もいる。</li> <li>・基本的な生活習慣の自立については個人差が大きい。</li> <li>・偏食傾向のある幼児も多く、食事に大変時間のかかる幼児もいる。</li> </ul>	<p><b>教育目標</b></p> <p>健康な身体と根気強くやりぬく習慣を養うとともに、人間性豊かな幼児の育成を図る。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>食育における健康教育目標</b></p> <p>生涯にわたり、健康な生活を送るために、基本的な生活習慣を身に付け、自分の体の変化について知り、正しい食生活を実践する態度を育てる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>食育の指導目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食事のリズムを整える。</li> <li>○食事の大切さに気付き、進んで食べる。</li> <li>○友達や先生と一緒に食べる楽しさを味わう。</li> <li>○進んで食事の準備や後片付けをする。</li> <li>○栽培、収穫、調理を通して、身近な食材に触れ、興味・関心をもつ。</li> </ul>	<p><b>めざす子ども像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で明るい子ども</li> <li>・友達と仲良く遊ぶ子ども</li> <li>・進んで取り組みががんばる子ども</li> <li>・心豊かで創造性のある子ども</li> </ul>
<p><b>保護者・地域の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育に理解があり、協力的である。しつけや子育て観は多様化の傾向にあり、過干渉・過保護な親も多い。</li> <li>・四季の変化や自然の美しさが体験できる恵まれた自然環境・社会環境である。</li> </ul>	<p><b>園内食育の推進体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食育リーダー                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢野 倫子 教諭</li> </ul> </li> <li>○食育推進委員会                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>家庭・地域との連携体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA</li> <li>・小学校・園医</li> <li>・地域連絡協議会</li> </ul>

		4 歳児		5 歳児		
		○進んで食事をする中で、いろいろな食べ物に親しむ。		○食べ物と体の関係に関心をもち楽しんで食事をする。		
I 期 4～8 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に、食事時のあいさつをする。</li> <li>・先生や友達と一緒に楽しく弁当を食べる。</li> <li>・手洗いや食事の準備、片付け等を自分でしようとする。</li> <li>・喜んで戸外で遊ぶ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いや食事の準備、後片付け等の仕方が分かり、進んで行う。</li> <li>・食事時のあいさつをし、こぼさず食べる。</li> <li>・食材に関心を示し、知っていることを話したり、調べたりするようになる。</li> <li>・園外保育に出掛けたり戸外で思いきり体を動かして遊んだりする。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・箸を正しく使って食べようとする。</li> <li>・当番活動に興味をもち、先生や友達と一緒に喜んで当番活動を行う。</li> <li>・いろいろな食材に興味関心をもつ。</li> <li>・友達と一緒に体を動かして遊ぶ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培や収穫を通して食材を生産してくれる人や調理してくれる人の存在に気付く。</li> <li>・食べ物の大切さに気付き、苦手なものでも食べようとする。</li> <li>・運動遊びに取り組み、体と食の関係について関心をもつ。</li> <li>・いろいろな運動遊びに取り組み、自分なりの課題に挑戦する。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を作ってくれている人に感謝の気持ちをもつ。</li> <li>・体を動かすとおなかがすくことなど、体と食事の関係に関心をもつ。</li> <li>・食べ物に対する興味を深め、苦手なものでも少しずつ食べてみようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物を大切にし、食事にかかわる様々な人に感謝の気持ちをもつ。</li> <li>・食事をするの意味を知り、友達と一緒に楽しんで食事をする。</li> <li>・健康的な食生活のリズムを知り、望ましい生活習慣を身につける。</li> </ul>		
食に関する園行事 栽培活動	4 月	家庭訪問・誕生会（毎月） 園外保育イチゴ・サクランボ収穫	8 月	登園日	12 月	もちつき 子ども会
	5 月	身体測定・健康診断・園外保育 親子遠足 夏野菜の苗植え	9 月	身体測定	1 月	身体測定
	6 月	虫歯予防の集い・カレーパーティー 幼小合同避難訓練 ジャガイモ・タマネギの収穫 サツマイモの苗植え	10 月	運動会・園外保育 冬野菜の種まき	2 月	豆まき・生活発表会 冬野菜の収穫 ジャガイモの苗植え
	7 月	七夕まつり・給食体験 個人懇談 夏野菜の収穫	11 月	バザー（お店屋さんごっこ） やきいもパーティー いもほり・タマネギの苗植え	3 月	ひなまつり 給食の見学
家庭・地域との連携		園だより 学級・個人懇談 研修会・講演会 食育だより・食育タイムの配布				
個別相談指導		食物アレルギー個別対応 偏食傾向の強い幼児への個別指導 肥満傾向のある幼児への個別指導				



# 平成 年度 ○○小学校食育全体計画

○○小学校

**児童の実態**  
朝食を欠食する児童は、全国平均よりやや多い。起床時刻、就寝時刻が遅い傾向がみられ、朝食の摂取率も全国平均より大きく上回っている。新体制ですでは持久力において課題があり、食事のみならず運動、睡眠を含めた生活リズムの見直しが必要と思われる。学校給食については、偏食傾向の児童も見られるが、多くの場合適切な食べ方と努力する姿も見られる。しかしながら、食べ物を大切にしようとする心は十分でなく、家庭とも連携を図りながら、食育活動を通して食育やかな心と体をほぐしていく必要がある。

**学校教育目標**  
心身ともに健康でたくましく、人権を尊重し、主体的に活動する人間性豊かな児童を育成する

**めざす児童像**  
心身ともに健康な子  
「よき思いやり、がんばる子  
うんと考え、進んで学ぶ子  
」を大切にすること

**研究主題**  
食生活を考えることを通して、子どもたちの健やかな心と体をほぐくむ食育のあり方  
一人・もの・地域との「つながり」を大切にできる子供の育成

**校内の食に関する指導の推進体制**  
○食育リーダー  
校長 教頭 食育担当教員  
○食育推進委員会  
校長 教頭 教務主任  
学年主任 研修主任 総務主任  
体育主任 給食主任 保健主任  
給食室長 食育リーダー

**食に関する指導の目標**

**家庭・地域との連携体制**  
○学校保健委員会  
○バウワフ(PTA食育部会)  
○おはなDon Don(地域保健推進員が中心)  
○炊事団 保母所  
○コミュニティセンター(地域)

- 食事をすることは心を豊かにし、成長するうえで欠かせないものであることが理解できる(食事の重要性)
- 規則正しい食事は心身の健康の基本であることを理解し、栄養バランスを考えた食事をとろうとする(心身の健康)
- 正しい知識や情報をもとに、品質や安全性を自ら選択できる力を身に付ける(食品を選択する能力)
- たくさんの命や、生産・調理等にかかわる多くの人々に感謝する心をもたせ、食べ物を大切にすること(感謝の心)
- 学校給食の準備・後片付けを通して、協力することの大切さを理解するとともに、気持ちよく食食できるマナーを身に付ける(社会性)
- 様々な食文化に興味をもつとともに、地域に伝わる郷土料理や行事食のよさを見つけ、日常の食生活に取り入れようとする(食文化)

**保護者・地域の実態**  
校区は県庁南側に広がる一帯の地域で、旧国道5号線が校区を東西に貫通している。また、バス路線(旧国道5号線)の発達に伴い、市街地・商業化の方向に変遷している。校区には大学等教育文化施設があり暮らし環境もなっている。社会体育としてスポーツ少年団の活動も盛んである。  
保護者は時代感覚を固め、教育に熱心でPTA活動に積極的に関与している。

到達目標 幼稚園・保育所	各学年の発達段階に応じた食に関する指導の到達目標(◎は本年度の重点項目 ☆社会性については各学年共通して取り組む項目)						到達目標 中学校
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
4歳児 ○食事を楽しみ、多くの食品に慣れむ 5歳児 ○食べ物の体の弱弱しに慣れむ 楽しめて食事を食べる	◎いろいろな食べ物に興味・関心をもち、食べることができる(健) ◎正しい手洗いをし、よく噛んで食べることができる(健) ◎状況に関心をもち、食品の名前がわかる(選) ◎命と食べ物のつながりを知り、食べ物を大切にすることができる(感) ◎命を大切に大切に食べることができる(社) ◎地域の産物に興味を持ち、進んで食べようとする(文)	◎いろいろな食べ物を食べることの大切さを知る ◎食べ物に慣れしめをもち、好き嫌いせず食べようとする ◎いろいろな食品に興味をもち、食品の名前がわかる ◎食卓を準備して作る人の労力を知り、感謝して食べることができる ◎命を大切に大切に食べようとする(文) ◎季節や行事にちなんだ料理に興味をもつ	◎三食規則正しくすることの大切さを知る ◎健康に過ごすためには食事が大切なことわり、好きな食べようとする ◎体によい食べ物を選ぶことができる ◎食卓の準備・後片付けが大切であることを知り、責任を持って食べることができる ◎食卓の準備・後片付けが大切であることを知り、責任を持って食べることができる ◎食卓の準備・後片付けが大切であることを知り、責任を持って食べることができる	◎食卓の準備・後片付けを通して、協力することの大切さを理解するとともに、気持ちよく食食できるマナーを身に付ける(社会性) ◎様々な食文化に興味をもつとともに、地域に伝わる郷土料理や行事食のよさを見つけ、日常の食生活に取り入れようとする(食文化)	◎食卓の準備・後片付けを通して、協力することの大切さを理解するとともに、気持ちよく食食できるマナーを身に付ける(社会性) ◎様々な食文化に興味をもつとともに、地域に伝わる郷土料理や行事食のよさを見つけ、日常の食生活に取り入れようとする(食文化)	◎食卓の準備・後片付けを通して、協力することの大切さを理解するとともに、気持ちよく食食できるマナーを身に付ける(社会性) ◎様々な食文化に興味をもつとともに、地域に伝わる郷土料理や行事食のよさを見つけ、日常の食生活に取り入れようとする(食文化)	1年・健康と食育の関わりを知り、中学校の食育の目標に向けて目標を立てる。食に慣れしめをもち、食生活を豊かにする。食の安全性について自ら判断し、健康的な食生活を営むことができる。2年・食生活の自立をめざして食育の管理や環境ができる。地域の産物や食文化を体験し、生活や自然の恵みに感謝する心をもつ。3年・生活を通して、自らの健康を適切に管理し改善していく能力と実践力を身に付ける。

到達目標 幼稚園・保育所	各学年の発達段階に応じた食に関する指導の到達目標(◎は本年度の重点項目 ☆社会性については各学年共通して取り組む項目)						到達目標 中学校
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
4歳児 ○食事を楽しみ、多くの食品に慣れむ 5歳児 ○食べ物の体の弱弱しに慣れむ 楽しめて食事を食べる	◎いろいろな食べ物に興味・関心をもち、食べることができる(健) ◎正しい手洗いをし、よく噛んで食べることができる(健) ◎状況に関心をもち、食品の名前がわかる(選) ◎命と食べ物のつながりを知り、食べ物を大切にすることができる(感) ◎命を大切に大切に食べることができる(社) ◎地域の産物に興味を持ち、進んで食べようとする(文)	◎いろいろな食べ物を食べることの大切さを知る ◎食べ物に慣れしめをもち、好き嫌いせず食べようとする ◎いろいろな食品に興味をもち、食品の名前がわかる ◎食卓を準備して作る人の労力を知り、感謝して食べることができる ◎命を大切に大切に食べようとする(文) ◎季節や行事にちなんだ料理に興味をもつ	◎三食規則正しくすることの大切さを知る ◎健康に過ごすためには食事が大切なことわり、好きな食べようとする ◎体によい食べ物を選ぶことができる ◎食卓の準備・後片付けが大切であることを知り、責任を持って食べることができる ◎食卓の準備・後片付けが大切であることを知り、責任を持って食べることができる ◎食卓の準備・後片付けが大切であることを知り、責任を持って食べることができる	◎食卓の準備・後片付けを通して、協力することの大切さを理解するとともに、気持ちよく食食できるマナーを身に付ける(社会性) ◎様々な食文化に興味をもつとともに、地域に伝わる郷土料理や行事食のよさを見つけ、日常の食生活に取り入れようとする(食文化)	◎食卓の準備・後片付けを通して、協力することの大切さを理解するとともに、気持ちよく食食できるマナーを身に付ける(社会性) ◎様々な食文化に興味をもつとともに、地域に伝わる郷土料理や行事食のよさを見つけ、日常の食生活に取り入れようとする(食文化)	◎食卓の準備・後片付けを通して、協力することの大切さを理解するとともに、気持ちよく食食できるマナーを身に付ける(社会性) ◎様々な食文化に興味をもつとともに、地域に伝わる郷土料理や行事食のよさを見つけ、日常の食生活に取り入れようとする(食文化)	1年・健康と食育の関わりを知り、中学校の食育の目標に向けて目標を立てる。食に慣れしめをもち、食生活を豊かにする。食の安全性について自ら判断し、健康的な食生活を営むことができる。2年・食生活の自立をめざして食育の管理や環境ができる。地域の産物や食文化を体験し、生活や自然の恵みに感謝する心をもつ。3年・生活を通して、自らの健康を適切に管理し改善していく能力と実践力を身に付ける。
国語	おむすびころん おきなが ものまわりのまかせよう ものまわ	かんざつ名人になろう おきながあれ 見たこと かんじたこと	ちいちゃんのかげおくり すがやをかえる大工 食べ物のひみつを教えます 秋の楽しみ わたしのけんけんしよう わたしたちのまちのなまめ 買い物帳をしよう 店員になろう 上手な買い物をするために しらべよう物をつくる仕事 わたしたちの市の様子 さぐってみよう昔のくらし	ウナギのなぞを調べて 水はどこから 水はどこへ ごみはどこへ 風の特色ある地域	カレーライス 生き物つながりのなかに	1年・健康と食育の関わりを知り、中学校の食育の目標に向けて目標を立てる。食に慣れしめをもち、食生活を豊かにする。食の安全性について自ら判断し、健康的な食生活を営むことができる。2年・食生活の自立をめざして食育の管理や環境ができる。地域の産物や食文化を体験し、生活や自然の恵みに感謝する心をもつ。3年・生活を通して、自らの健康を適切に管理し改善していく能力と実践力を身に付ける。	
社会							
算数	おかいもの	長さ(成長した葉や茎の長さを知る)	植物のたねまき 植物のつくりと育ち	春の自然・夏の自然 ヒトの体のつくり 花から果へ	植物の発芽と成長 花から果へ		
理科							
生活(1・2年)	がっこうたんけん いのちのつながり まますの意義	やさしいともだちになろう かややさしそだてよう 大きくなったぼく わたし					
家庭(5・6年)	はなや やさいを そだてよう みんなだいすき あそびあそぼう						
図画工作		ぼくのやさい、わたしのやさい ぼくのやさい、みんなのやさい おはなやさいリース おはなやさいリース					
音楽		おはなやさいリース おはなやさいリース					
体育(保健領域)	さむぎにまけないからだ	ぼくのやさい、わたしのやさい ぼくのやさい、みんなのやさい おはなやさいリース おはなやさいリース	毎日の生活とけんこう 楽なたいそをしよう 元気な体を作ろう	育ちの体とわたし お母さんのせいきゆう音	心の健康 持久力		
道徳	げんきなご ありがとう おてつだい がっこうだいすき いのちのつながり まますの意義 わたしたちのまちのよさ おはなやさいリース	おつかい おつかい おつかい おつかい					
総合的な学習の時間							
外国語活動							
特別学級							
学級活動	たのしいやうしやく おつかい おつかい おつかい おつかい	あそびで元気いっぱい やさしいのひみつはけん きょういふひみつはけん	朝食の大切さを知ろう バランスよく食べよう 三つのありがとう	朝ごはんを食べよう 食卓のつくりかた パランスのとれた食事の大切さを知ろう	食卓の準備・後片付け 食卓の準備・後片付け 食卓の準備・後片付け	食卓の準備・後片付け 食卓の準備・後片付け 食卓の準備・後片付け	
給食	4月 朝食をしっかりと食べよう(健・社) 6月 楽しく食事をしよう(健・社) 6月 よく噛んで食べよう(健・社) 7月 食卓の準備・後片付け(健・社)	協力して給食の準備をしよう(社) 上手な食べ方をしよう(社) よく噛んで食べよう(健) 食卓の準備・後片付け(健)	9月 朝の食卓についてお話をしよう(健・選・文) 10月 朝食の大切さについてお話をしよう(健・選・文) 11月 規則正しい食卓をしよう(健・選・文) 12月 食卓の準備・後片付け(健・選・文)	食卓の準備・後片付け(健・選・文) 食卓の準備・後片付け(健・選・文) 食卓の準備・後片付け(健・選・文)	1月 食文化についてお話をしよう(文・社) 2月 食卓の準備・後片付け(健・選・文) 3月 一年間の食生活を振り返ろう(健・選・文・社)	食卓の準備・後片付け(健・選・文) 食卓の準備・後片付け(健・選・文) 食卓の準備・後片付け(健・選・文)	食卓の準備・後片付け(健・選・文) 食卓の準備・後片付け(健・選・文) 食卓の準備・後片付け(健・選・文)
家庭・地域との連携	PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ	PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ	PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ	PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ	PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ	PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ PTA活動 バウワフ	
個別指導							

◎は食に関する指導の内容を示す。(健)食事の重要性 (健)心身の健康 (選)食品を選択する能力 (感)感謝の心 (社)社会性 (文)食文化

平成 年度 ○○中学校 食育の全体計画

○○中学校

**生徒の実態**  
 ・各学年ともに、朝食を食べてくる生徒は、ほぼ100%であるが、その内容を見ると、主食を食べているのは約66%、副食を食べているのは約24%となっている。  
 ・給食の残飯量も今年度は少なく、パン・牛乳も残さずよく食べている。

**学校教育目標**  
 校訓「自主・創造・勤労」を目標に、人権を尊重し、自主的・自律的・創造的能力に富む人間性豊かな生徒を育てる。

**めざす生徒像**  
 ・熱心に学習する生徒  
 ・豊かな心をもつ生徒  
 ・健康でたくましい生徒

**食育における健康教育目標**  
 生涯にわたり、健康な生活を送るために、基本的な生活習慣を身に付け、自分の体の変化について知り、正しい食生活を実践する態度を育てる。  
 合い言葉は「早寝・早起き・朝ご飯」「野菜を食べて元気いっぱい」

**校内食育推進委員会**  
 ○食育推進リーダー  
 ・養護教諭  
 ○食育推進委員  
 ・校長・教頭・教務  
 ・各学年主任  
 ・給食主任  
 ・養護教諭

**保護者・地域の実態**  
 ・家庭の食事を大切にしようとする意識が高い。  
 ・保護者の教育への関心は高く協力的であり、PTA活動にも熱心である。  
 ・料理店を経営する保護者や地域の特産物の栽培販売に携わっている保護者も多い。

**食育の指導目標**  
 ○食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。(食事の重要性)  
 ○心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂りかたを理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。(心身の健康)  
 ○正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性について自ら判断できる能力を身に付ける。(食品を選択する能力)  
 ○食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。(感謝の心)  
 ○食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。(社会性)  
 ○各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。(食文化)

**家庭・地域との連携体制**  
 ・学校給食委員会  
 ・学校保健委員会  
 ・PTA本部役員会

1年	2年	3年
○健康と食事の関わりを知り、中学生の時期の栄養の特徴について理解できる。 ○食に関心をもち、楽しい食事を通して望ましい人間関係を築こうとする。 ○食品の品質・安全性について判断し、適切な選択や取り扱いができる。	○健康によい食習慣を身に付けることの重要性、実践しようとする態度を育てる。 ○地域の産物や食文化を理解し、生産者や自然の恵みに感謝する心をはぐくむ。	○生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し改善していく能力と実践力を身に付ける。 ○環境や資源に配慮した食生活を実践しようとする態度を身に付ける。

		1年	2年	3年	特別支援学級
教 科	社会科	(地理的分野) 世界各地の人々と環境 (歴史的分野) 時代の移り変わりを調べよう 稲作による生活の変化	(地理的分野) 日本の様々な地域 ・資源エネルギーと産業 ・日本の農林水産業	(公民的分野) (1)私たちが現代生活 (2)私たちと経済	・給食に携わる人々の仕事を調べてみよう。 ・栄養士さんや調理員さんや運転手さんにお礼の手紙を書こう。 (国語科と連携)
	理科	第2分野(植物の生活と種類) いろいろな植物 根・茎・葉・果実	第2分野(動物のくらしとなかま) いろいろな動物 生命を維持するはたらき	第2分野(自然と人間) 生物どうしのつながり 物質はどのように移動するか	・はばたき農園で、野菜を育て成長を観察し、収穫する。(エンドウ豆・タマネギ・さつまいも)
	保健体育(保健分野)	(1)心身の発達と心の健康 ・体の発育・発達	(2)健康と環境 ・水とわたしたちの生活	(4)健康な生活と病気の予防 ・食生活と健康 ・生活習慣病とその予防	・うがい、手洗い、食事、睡眠の大切さ
	美術	・自然物を使った構成 野菜や果物を観察し、構造を知り、構成する。	・和菓子を粘土で造ろう。(塑造)	・自然の美しさを商業デザインに取り入れよう。(PCを用いて)	・季節の食べ物の絵でカレンダーを作ろう。
	音楽	・くいしんぼうのラップ	・魔法のフルーツバスケット		(協力学級に準ずる)
	技術・家庭(家庭分野)	・わたしたちの食生活 食生活と栄養 献立作りと食品の選択 調理と食文化	・修学旅行の朝食バイキングで、バランスのとれた朝食を摂ろう。 ・季節の野菜を使った調理実習 ・地域の特産物を使った調理実習	・幼児のおやつ *おやつは今と昔 *調理実習「おやつ作り」	・はばたき農園で収穫した野菜を使って、調理実習をする。
	道徳	・友だちを敬愛し助け合う態度 ・望ましい生活習慣を身に付ける。 ・ふるさと穴吹のよさを知ろう ・茶道	・物事を自分で考え判断し、主体的に行動できる態度の育成 ・沖縄の風土と食 ・職場体験学習(食物を扱う仕事) ・茶道	・お互いの人格を認め合う人間愛の心の育成 ・茶道	・「ありがとう」を忘れない毎日 (協力学級に準ずる)
総合的な学習の時間				(協力学級に準ずる)	
特 学 別 級 活 動	学級活動	・給食のきまり ・朝食の大切さを知ろう。	・食生活を見直そう。 ・生活習慣病の予防	・健康への影響についての理解 ・よりよい食生活をめざして	(協力学級に準ずる)
	給食の時間	4月 給食のきまりを守り、協力して楽しく食事をしよう。 5月 バランスのよい食事をしよう。 6月 衛生的に気をつけて食事をしよう。 7月 夏の健康と食事について考えよう。 8月 暑さに負けない食事について考えよう。 9月 正しい食習慣を身に付けよう。 10月 偏食をなくし、栄養について考えよう。 11月 食器、食缶等を清潔に大切に扱おう。 12月 冬の食生活について考えよう。	食生活に関心をもとう。正しい水分補給のしかたを知ろう。		
	生活に食について	1月 地域の食材や食文化に関心をもとう。 2月 室内の整理・換気・美化に努めよう。 3月 1年間の食生活を振り返ってみよう。			
	地域の産物の活用	にんじん、ねぎ、きゃべつ、レタス、きゅうり、小松菜、もやし、さつま芋、わかめ、干しいたけ、赤味噌、レンコン、なす、ぶどう、ピーマン、ごぼう、白菜、ミニトマト、みかん、ほうれんそう、大根、ブロッコリー、サトイモ、かぶ、水菜、ゆず酢、特に穴吹町特産の「ブルーベリー」「はっさく」「あゆ」「あめご」「ごま」「茶」「よもぎ」「生しいたけ」			
	生徒会活動	・給食時間の過ごし方を考えよう。 ・衛生に気をつけて給食の準備をしよう。 ・感謝して食べよう。			
	学校行事	・厚生委員会 ・放送委員会(今日の献立の説明や食育に関するお知らせや食事にあそびの楽しい音楽の放送)			
	家庭・地域との連携	・身体測定・歯科検診・修学旅行・遠足(1年 うどん打ち体験)・授業参観・連合運動会・文化祭・食育の日・食育月間・学校給食週間			
	個別相談指導	・学年だより ・学校だより ・給食だより ・保健だより ・ANA新聞 ・PTA広報			
		・学校保健委員会 ・PTA専門部活動 ・みまこ食育推進協議会 ・食育だより(栄養士さん作成)			
		・食物アレルギー個別相談 ・肥満傾向や貧血の生徒への食事指導 ・栄養指導			

平成 年度 ○○高等学校食育全体計画

○○高等学校

**生徒の実態**  
 ・補習や部活動、通塾のため食事の時間が不規則な生徒が多い。  
 ・朝食を抜いている生徒も多く、食べていても、スナック菓子や菓子パンなどで済ませている。  
 ・野菜摂取不足の生徒が比較的多い。

**学校教育目標**  
 教育基本法並びに本県教育の基本目標に基づき、人権を尊重するとともに人間性豊かな教育を推進し、社会の変化に主体的に対応できる知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。

**めざす生徒像**  
 ・自主的・自立的精神に富み、たくましい創造力を持った生徒  
 ・常に自ら学び続け、社会の変化に対応できる能力を持った生徒  
 ・社会人としての常識や学力を身に付け、豊かな人権感覚を持った生徒

**保護者・地域の実態**  
 ・生徒の通学範囲が広範囲で、家庭状況の実態も多様である。  
 ・学校教育に対して、協力的な保護者が比較的多い。

**食育における健康教育目標**  
 生涯にわたり、健康な生活を送るために、基本的生活習慣を身に付け、自分の体の変化について知り、正しい食生活を実践する態度を育てる。

**校内食育推進体制**  
 ○学校食育リーダー  
 家庭科主任  
 ○食育推進委員  
 ・校長、教頭  
 ・各教科主任  
 ・生徒指導課長、特別活動課長、総務課長、保健厚生課長、教育相談課長、人権教育課長  
 ・学年主任  
 ・養護教諭  
 ・総合的な学習の時間実施委員会委員長

**食育の指導目標**  
 ○食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする。(食事の重要性)  
 ○心身の成長や健康の保持増進の上で、望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。(心身の健康)  
 ○正しい知識、情報に基づいて、食物の品質及び安全性等についても自ら判断できる能力を身に付ける。(食品を選択する能力)  
 ○食物を大切にし、食物の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。(感謝の心)  
 ○食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。(社会性)  
 ○各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。(食文化)

**家庭・地域との連携体制**  
 ・学校評議委員会  
 ・同窓会  
 ・PTA 家庭教育研修部会

**食育の到達目標**  
 ・日常生活における健康・安全に関する知識を理解し、自ら健康を適切に管理・改善する。  
 ・生涯を見通して食に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、食生活の充実・向上を図る実践的な態度を身につける。  
 ・健康の保持増進や食の安全に配慮して食生活を工夫する。  
 ・充実した食生活を通して、生涯にわたって明るく豊かで活力にあふれる生活を営むことができる。

各教科・科目	古典	古典に出てくる伝統行事に付随した食の歴史を学ぶ。
	日本史 A	カレーライスを一つの事例として、多様化する日本人の食生活の歴史を知り、食生活の豊かさとは何かを多面的に考える。
	日本史 B	いろいろな信仰や行事を通して、食が果たした役割を考え、食の大切さを学ぶ。
	生物基礎	体内環境の維持のしくみ 血糖量の調節
	化学基礎	化学と人間生活
	保健	(1) 現代社会と健康 イ 健康の保持増進と疾病の予防 (3) 社会生活と健康 イ 環境と食品の保健
	リーディング・コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ	世界の食糧事情や食糧問題についての英文を読み、食の安全や食習慣について考える。
	ライティング・英語表現Ⅰ・Ⅱ	レシピを英語で書いて発表する。
	家庭基礎	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 イ※ 子どもの発達と保育 (2) 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康 オ ライフスタイルと環境 (3) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動
	フードデザイン	(1)健康と食生活 ア食を取り巻く現状 イ食事の意義と役割 (2)フードデザインの構成要素 ア栄養 イ食品 ウ料理形式と献立 エ調理 オ テーブルコーディネート (3) フードデザイン実習 ア食事テーマの設定と献立作成 イ食品の選択と調理 ウ テーブルコーディネートとサービスの実習 (4)食育と食育推進運動 ア食育の意義 イ家庭や地域における食育推進活動
生活文化と福祉社会と情報	食生活の文化 プレゼンテーション実習 (発表テーマ例として食育に関するものを提示する。)	
総合的な学習の時間	「高校生と食生活」について講演を聴き、その内容をまとめるなかで自らの食生活をふりかえる。また、食に関する新聞記事をまとめる。	
特別活動	ホームルーム活動	「心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立」の内容として、心身の健康と健全な食生活について取り上げる。
	生徒会活動	保健委員会や各種委員会の活動の一環として、食に関するアンケートの実施、委員会だよりや文化祭を利用した発表など、実践的な取り組みを行う。
	学校行事	食に関する講演会の開催や、体育祭等の行事への関連付け、身体測定や歯科検診等、の健康診断結果の活用など、年間計画に位置づけ実施する。
	部活動	トレーナー(各部) 栄養士などの指導等により、日頃の食事のとり方、試合直前の食事のとり方、試合後の食事のとり方などを具体的に学習する。
学校家庭クラブ活動	野菜摂取や地産地消の啓発および情報発信のための資料を文化祭において展示するとともに、各クラスに掲示する。徳島の野菜を多く取り入れた料理の研究、高齢者や子どもに適する菓子作りの研究をする。	
日常生活指導との関連	各ホームルーム担任による日常的な指導、各学期初め・学期末の生活指導、全校集会・学年集会等で、野菜摂取についての呼びかけ指導、遅刻指導の際の朝食摂取指導、食のマナー指導	
個別相談指導	肥満傾向、やせの生徒に対する健康相談・指導	
家庭・地域との連携	保健だより(野菜摂取についての内容を盛り込む)をホームページへ掲載、食堂への野菜摂取に関する協力依頼、保護者への啓発および情報発信(野菜摂取や地産地消などに関する資料配布等)、三者面談など	

※ 学習指導要領の項目の記号を示す。

平成 年度 ○○特別支援学校食育全体計画

○○特別支援学校

<p>児童・生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の種類・程度に幅があり、多様な実態の児童・生徒が在籍している。</li> <li>・誤嚥の危険性、嘔しよく機能の低下、肥満傾向、偏食などの困難を抱えている児童・生徒がいる。</li> </ul>	<p>学校教育目標</p> <p>児童生徒一人ひとりの人権を尊重し、教育的ニーズに応じた指導をとおして豊かな生活を支援するとともに、積極的に社会に関わり、自己実現をめざす人間を育成する。</p>	<p>めざす児童・生徒像</p> <p>○食の大切さを理解し、健康で安全な生活をおくることができる。 ○食を通して望ましい人間関係を築くことができる。</p>
<p>保護者・地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食への関心は高い</li> <li>・学校教育に協力的である。</li> <li>・広範囲から通学しており、行事等で学校とのつながりを持っていることが多い。</li> </ul>	<p>食育における健康教育目標</p> <p>生涯にわたり、健康な生活を送るために、基本的な生活習慣を身につけ、自分の体の変化を知り、正しい食生活を実践する態度を育てる。</p>	<p>校内食育推進体制</p> <p>食育推進委員会 校長、教頭 各学部主事 学校栄養職員 食育リーダー（保健課） 養護教諭・助教諭 家庭科担当者</p>
<p>食育の指導目標</p>		<p>食育推進委員会 校長、教頭 各学部主事 学校栄養職員 食育リーダー（保健課） 養護教諭・助教諭 家庭科担当者</p>
<p>○食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。（食事の重要性） ○心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。（心身の健康） ○正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。（食品を選択する能力） ○食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。（感謝の心） ○食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。（社会性） ○各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。（食文化）</p>		

<p>発達段階に応じた食育の到達目標</p> <p>○嚥下に気をつけ、意欲的に食事をする。 ○食べ物の働きについて知り、偏食を減らす。 ○食を選択する力を身に付ける。 ○配膳の仕方や食事のマナーを身に付ける。</p>	<p>家庭・地域との連携体制</p> <p>PTA 給食委員会</p>
--	-------------------------------------

<p>教科別の指導</p>	<table border="1"> <tr> <td>家庭科</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養のバランスと体調管理について知る</li> <li>・食中毒の怖さを知る</li> <li>・主食、主菜、副菜の取り合わせを知る</li> <li>・インスタント食品の利用と注意事項を知る</li> <li>・食品の洗い方や切り方を知る</li> <li>・郷土の食文化を知る</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食の大切さを知る</li> <li>・食品の保存方法を知る</li> <li>・スーパーやコンビニで一分の購入ができる</li> <li>・何をどれだけ食べるかを考える</li> <li>・調理器具の安全な扱い方を知る</li> <li>・身近な食材を使った調理実習をする</li> <li>・季節の味覚を味わう</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵庫の使い方を考える</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>保健体育</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体の発育と発達について知る</li> <li>・自己の健康管理を認識する</li> <li>・正しい歯みがきの仕方を知る</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間食のとり方を考える</li> <li>・心の健康について考える</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水分のとり方について知る</li> <li>・病気の予防について知る</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> <li>・人体を構成する部位の名称と働きを知る</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発芽と生長の観察をする</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の仲間分けをする</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>社会科</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の特産物を知る</li> <li>・ごみの処理と利用を知る</li> <li>・食事の注文の仕方を体験する</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットのしくみを知る</li> <li>・買い物を学習する</li> <li>・水、電気、ガスが有料であることを知る</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニの利用方法を知る</li> <li>・外食の利用の仕方を知る</li> <li>・日本や世界の主な出来事を知る</li> </ul> </td> </tr> </table>	家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養のバランスと体調管理について知る</li> <li>・食中毒の怖さを知る</li> <li>・主食、主菜、副菜の取り合わせを知る</li> <li>・インスタント食品の利用と注意事項を知る</li> <li>・食品の洗い方や切り方を知る</li> <li>・郷土の食文化を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食の大切さを知る</li> <li>・食品の保存方法を知る</li> <li>・スーパーやコンビニで一分の購入ができる</li> <li>・何をどれだけ食べるかを考える</li> <li>・調理器具の安全な扱い方を知る</li> <li>・身近な食材を使った調理実習をする</li> <li>・季節の味覚を味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵庫の使い方を考える</li> </ul>	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の発育と発達について知る</li> <li>・自己の健康管理を認識する</li> <li>・正しい歯みがきの仕方を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間食のとり方を考える</li> <li>・心の健康について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分のとり方について知る</li> <li>・病気の予防について知る</li> </ul>	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> <li>・人体を構成する部位の名称と働きを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発芽と生長の観察をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の仲間分けをする</li> </ul>	社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の特産物を知る</li> <li>・ごみの処理と利用を知る</li> <li>・食事の注文の仕方を体験する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットのしくみを知る</li> <li>・買い物を学習する</li> <li>・水、電気、ガスが有料であることを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニの利用方法を知る</li> <li>・外食の利用の仕方を知る</li> <li>・日本や世界の主な出来事を知る</li> </ul>																			
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養のバランスと体調管理について知る</li> <li>・食中毒の怖さを知る</li> <li>・主食、主菜、副菜の取り合わせを知る</li> <li>・インスタント食品の利用と注意事項を知る</li> <li>・食品の洗い方や切り方を知る</li> <li>・郷土の食文化を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食の大切さを知る</li> <li>・食品の保存方法を知る</li> <li>・スーパーやコンビニで一分の購入ができる</li> <li>・何をどれだけ食べるかを考える</li> <li>・調理器具の安全な扱い方を知る</li> <li>・身近な食材を使った調理実習をする</li> <li>・季節の味覚を味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵庫の使い方を考える</li> </ul>																																	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の発育と発達について知る</li> <li>・自己の健康管理を認識する</li> <li>・正しい歯みがきの仕方を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間食のとり方を考える</li> <li>・心の健康について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分のとり方について知る</li> <li>・病気の予防について知る</li> </ul>																																	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> <li>・人体を構成する部位の名称と働きを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発芽と生長の観察をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の仲間分けをする</li> </ul>																																	
社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の特産物を知る</li> <li>・ごみの処理と利用を知る</li> <li>・食事の注文の仕方を体験する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットのしくみを知る</li> <li>・買い物を学習する</li> <li>・水、電気、ガスが有料であることを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニの利用方法を知る</li> <li>・外食の利用の仕方を知る</li> <li>・日本や世界の主な出来事を知る</li> </ul>																																	
<p>領域及び各教科等に関わる指導</p>	<table border="1"> <tr> <td>自立活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口唇等の機能向上のためのマッサージを受ける</li> <li>・見て、聞いて、触って、嗅いで、味わって食べる</li> <li>・改良スプーンや食器を使って自分で食事をする</li> <li>・食事に集中する</li> <li>・みんなと食べる</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に食べる</li> <li>・水分をとる</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローやコップを使って飲む</li> <li>・適切なシーティングで食べる</li> <li>・いろいろな味に慣れる</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>日常生活の指導</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付けと配膳の仕方を知る</li> <li>・正しい食べ方や食事のマナーを知る</li> <li>・食べ物や献立の名前を知る</li> <li>・感謝の気持ちをもつ</li> <li>・箸やスプーンの使い方を工夫する</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けの仕方を知る</li> <li>・正しい手洗いの仕方を知る</li> <li>・食べ物や体を作ることを知る</li> <li>・食事量の調節ができる</li> <li>・好き嫌いを減らす</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔に身だしなみを整える</li> <li>・適度に水分をとる</li> <li>・いろいろな味に慣れる</li> <li>・今日の献立を知る</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>給食の時間</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付けと配膳の仕方を知る</li> <li>・衛生と正しい手洗いの関係を知る</li> <li>・感謝の気持ちをもつ</li> <li>・歯の健康を認識する</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好ましい片付けと清掃の仕方を知る</li> <li>・食べ物や献立の名前を知る</li> <li>・一食分の献立のバランスを知る</li> <li>・行事食や郷土料理を知る</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい食べ方や食事のマナーを知る</li> <li>・食品に含まれる栄養素と健康の関係を知る</li> <li>・水分の適切なとり方を知る</li> <li>・偏食をなくす</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>作業学習</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫食材を使った調理実習をする</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な外食の仕方を知る</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>生活単元学習</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> <li>・一食分の総菜や弁当の購入ができる</li> <li>・適切な食材の購入の仕方を知る</li> <li>・安全な包丁の扱いができる</li> <li>・日常生活の基本的な手の動きを獲得する</li> <li>・援助要求が出せる</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫食材を使った調理実習をする</li> <li>・簡単な朝食づくりができる</li> <li>・インスタント食品の利用ができる</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な昼食づくりができる</li> </ul> </td> </tr> </table>	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口唇等の機能向上のためのマッサージを受ける</li> <li>・見て、聞いて、触って、嗅いで、味わって食べる</li> <li>・改良スプーンや食器を使って自分で食事をする</li> <li>・食事に集中する</li> <li>・みんなと食べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に食べる</li> <li>・水分をとる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローやコップを使って飲む</li> <li>・適切なシーティングで食べる</li> <li>・いろいろな味に慣れる</li> </ul>	日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付けと配膳の仕方を知る</li> <li>・正しい食べ方や食事のマナーを知る</li> <li>・食べ物や献立の名前を知る</li> <li>・感謝の気持ちをもつ</li> <li>・箸やスプーンの使い方を工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けの仕方を知る</li> <li>・正しい手洗いの仕方を知る</li> <li>・食べ物や体を作ることを知る</li> <li>・食事量の調節ができる</li> <li>・好き嫌いを減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔に身だしなみを整える</li> <li>・適度に水分をとる</li> <li>・いろいろな味に慣れる</li> <li>・今日の献立を知る</li> </ul>	給食の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付けと配膳の仕方を知る</li> <li>・衛生と正しい手洗いの関係を知る</li> <li>・感謝の気持ちをもつ</li> <li>・歯の健康を認識する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好ましい片付けと清掃の仕方を知る</li> <li>・食べ物や献立の名前を知る</li> <li>・一食分の献立のバランスを知る</li> <li>・行事食や郷土料理を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい食べ方や食事のマナーを知る</li> <li>・食品に含まれる栄養素と健康の関係を知る</li> <li>・水分の適切なとり方を知る</li> <li>・偏食をなくす</li> </ul>	作業学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫食材を使った調理実習をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な外食の仕方を知る</li> </ul>	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> <li>・一食分の総菜や弁当の購入ができる</li> <li>・適切な食材の購入の仕方を知る</li> <li>・安全な包丁の扱いができる</li> <li>・日常生活の基本的な手の動きを獲得する</li> <li>・援助要求が出せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫食材を使った調理実習をする</li> <li>・簡単な朝食づくりができる</li> <li>・インスタント食品の利用ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な昼食づくりができる</li> </ul>															
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口唇等の機能向上のためのマッサージを受ける</li> <li>・見て、聞いて、触って、嗅いで、味わって食べる</li> <li>・改良スプーンや食器を使って自分で食事をする</li> <li>・食事に集中する</li> <li>・みんなと食べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に食べる</li> <li>・水分をとる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローやコップを使って飲む</li> <li>・適切なシーティングで食べる</li> <li>・いろいろな味に慣れる</li> </ul>																																	
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付けと配膳の仕方を知る</li> <li>・正しい食べ方や食事のマナーを知る</li> <li>・食べ物や献立の名前を知る</li> <li>・感謝の気持ちをもつ</li> <li>・箸やスプーンの使い方を工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片付けの仕方を知る</li> <li>・正しい手洗いの仕方を知る</li> <li>・食べ物や体を作ることを知る</li> <li>・食事量の調節ができる</li> <li>・好き嫌いを減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔に身だしなみを整える</li> <li>・適度に水分をとる</li> <li>・いろいろな味に慣れる</li> <li>・今日の献立を知る</li> </ul>																																	
給食の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付けと配膳の仕方を知る</li> <li>・衛生と正しい手洗いの関係を知る</li> <li>・感謝の気持ちをもつ</li> <li>・歯の健康を認識する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好ましい片付けと清掃の仕方を知る</li> <li>・食べ物や献立の名前を知る</li> <li>・一食分の献立のバランスを知る</li> <li>・行事食や郷土料理を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい食べ方や食事のマナーを知る</li> <li>・食品に含まれる栄養素と健康の関係を知る</li> <li>・水分の適切なとり方を知る</li> <li>・偏食をなくす</li> </ul>																																	
作業学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫食材を使った調理実習をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な外食の仕方を知る</li> </ul>																																	
生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培、手入れ、収穫をする</li> <li>・一食分の総菜や弁当の購入ができる</li> <li>・適切な食材の購入の仕方を知る</li> <li>・安全な包丁の扱いができる</li> <li>・日常生活の基本的な手の動きを獲得する</li> <li>・援助要求が出せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫食材を使った調理実習をする</li> <li>・簡単な朝食づくりができる</li> <li>・インスタント食品の利用ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な昼食づくりができる</li> </ul>																																	
<p>特別活動</p>	<table border="1"> <tr> <td>HR活動 学級活動</td> <td> <p>4・5・6月 (楽しく給食を食べよう) ・新しい環境や給食の仕方に慣れ、楽しい給食の雰囲気作りをする。 ・食前食後のあいさつをする。</p> </td> <td> <p>7・8・9月 (衛生に気をつけよう) ・細菌の恐ろしさを知り、食べ物や食器を衛生的に扱う。 ・丁寧に手洗いをし、食事の大切さを知り、自分の朝食を振り返る。</p> </td> <td> <p>10・11・12月 (好き嫌いをなく食べよう) ・嫌いな物でも少しずつ食べる。 ・食事ができるまでに多くの人々が関わっていることに感謝をする。 ・郷土食や行事食に関心をもち、その由来を知る。</p> </td> <td> <p>1・2・3月 (じょうぶな身体を作ろう) ・給食は、食材の組み合わせを考えて作られていることを知り、よりよい食習慣を身に付けようとする。</p> </td> </tr> <tr> <td>学校行事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式</li> <li>・遠足</li> <li>・試食会</li> <li>・1学期始業式</li> <li>・歯の衛生週間</li> <li>・プール開き</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳実習</li> <li>・1学期終業式</li> <li>・2学期始業式</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期終業式</li> <li>・体育祭・文化祭</li> <li>・希望献立給食調査</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食週間（希望献立給食）</li> <li>・卒業式</li> <li>・3学期始業式、終業式</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>地場産物の活用等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筍・えんどう・わかめ・青梗菜</li> <li>・人参・アスパラガス・美生柑</li> <li>・なす・じゃが芋・玉葱</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぼちゃ・ピーマン・にら</li> <li>・青梗菜・さつま芋・ぶどう</li> <li>・なし</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつま芋・りんご・柿</li> <li>・青梗菜・みかん・ほうれん草</li> <li>・ブロッコリー・大根</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうれん草・大根・白菜</li> <li>・小松菜・れんこん・カリフラワー</li> <li>・鱈・キャベツ・わかめ</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>給食行事</td> <td colspan="4">給食放送、給食委員会、給食週間（希望献立給食）、郷土料理</td> </tr> <tr> <td>PTA行事</td> <td colspan="4">給食試食会</td> </tr> <tr> <td>個別指導</td> <td colspan="4">アレルギー調査と個別対応についての共通理解、食事指導（そしゃく・えん下） 個々に応じた食事形態の実施、肥満傾向生徒への指導、朝食指導</td> </tr> <tr> <td>家庭・地域との連携</td> <td colspan="4">給食だより、保健だより、PTAだより、地場産物・旬の食材の使用 学校給食試食会、給食週間ポスターの掲示、栄養士からの指導：バランスの良い食事</td> </tr> </table>	HR活動 学級活動	<p>4・5・6月 (楽しく給食を食べよう) ・新しい環境や給食の仕方に慣れ、楽しい給食の雰囲気作りをする。 ・食前食後のあいさつをする。</p>	<p>7・8・9月 (衛生に気をつけよう) ・細菌の恐ろしさを知り、食べ物や食器を衛生的に扱う。 ・丁寧に手洗いをし、食事の大切さを知り、自分の朝食を振り返る。</p>	<p>10・11・12月 (好き嫌いをなく食べよう) ・嫌いな物でも少しずつ食べる。 ・食事ができるまでに多くの人々が関わっていることに感謝をする。 ・郷土食や行事食に関心をもち、その由来を知る。</p>	<p>1・2・3月 (じょうぶな身体を作ろう) ・給食は、食材の組み合わせを考えて作られていることを知り、よりよい食習慣を身に付けようとする。</p>	学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式</li> <li>・遠足</li> <li>・試食会</li> <li>・1学期始業式</li> <li>・歯の衛生週間</li> <li>・プール開き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳実習</li> <li>・1学期終業式</li> <li>・2学期始業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期終業式</li> <li>・体育祭・文化祭</li> <li>・希望献立給食調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食週間（希望献立給食）</li> <li>・卒業式</li> <li>・3学期始業式、終業式</li> </ul>	地場産物の活用等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筍・えんどう・わかめ・青梗菜</li> <li>・人参・アスパラガス・美生柑</li> <li>・なす・じゃが芋・玉葱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かぼちゃ・ピーマン・にら</li> <li>・青梗菜・さつま芋・ぶどう</li> <li>・なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつま芋・りんご・柿</li> <li>・青梗菜・みかん・ほうれん草</li> <li>・ブロッコリー・大根</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうれん草・大根・白菜</li> <li>・小松菜・れんこん・カリフラワー</li> <li>・鱈・キャベツ・わかめ</li> </ul>	給食行事	給食放送、給食委員会、給食週間（希望献立給食）、郷土料理				PTA行事	給食試食会				個別指導	アレルギー調査と個別対応についての共通理解、食事指導（そしゃく・えん下） 個々に応じた食事形態の実施、肥満傾向生徒への指導、朝食指導				家庭・地域との連携	給食だより、保健だより、PTAだより、地場産物・旬の食材の使用 学校給食試食会、給食週間ポスターの掲示、栄養士からの指導：バランスの良い食事			
HR活動 学級活動	<p>4・5・6月 (楽しく給食を食べよう) ・新しい環境や給食の仕方に慣れ、楽しい給食の雰囲気作りをする。 ・食前食後のあいさつをする。</p>	<p>7・8・9月 (衛生に気をつけよう) ・細菌の恐ろしさを知り、食べ物や食器を衛生的に扱う。 ・丁寧に手洗いをし、食事の大切さを知り、自分の朝食を振り返る。</p>	<p>10・11・12月 (好き嫌いをなく食べよう) ・嫌いな物でも少しずつ食べる。 ・食事ができるまでに多くの人々が関わっていることに感謝をする。 ・郷土食や行事食に関心をもち、その由来を知る。</p>	<p>1・2・3月 (じょうぶな身体を作ろう) ・給食は、食材の組み合わせを考えて作られていることを知り、よりよい食習慣を身に付けようとする。</p>																																
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式</li> <li>・遠足</li> <li>・試食会</li> <li>・1学期始業式</li> <li>・歯の衛生週間</li> <li>・プール開き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳実習</li> <li>・1学期終業式</li> <li>・2学期始業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期終業式</li> <li>・体育祭・文化祭</li> <li>・希望献立給食調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食週間（希望献立給食）</li> <li>・卒業式</li> <li>・3学期始業式、終業式</li> </ul>																																
地場産物の活用等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筍・えんどう・わかめ・青梗菜</li> <li>・人参・アスパラガス・美生柑</li> <li>・なす・じゃが芋・玉葱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かぼちゃ・ピーマン・にら</li> <li>・青梗菜・さつま芋・ぶどう</li> <li>・なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつま芋・りんご・柿</li> <li>・青梗菜・みかん・ほうれん草</li> <li>・ブロッコリー・大根</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうれん草・大根・白菜</li> <li>・小松菜・れんこん・カリフラワー</li> <li>・鱈・キャベツ・わかめ</li> </ul>																																
給食行事	給食放送、給食委員会、給食週間（希望献立給食）、郷土料理																																			
PTA行事	給食試食会																																			
個別指導	アレルギー調査と個別対応についての共通理解、食事指導（そしゃく・えん下） 個々に応じた食事形態の実施、肥満傾向生徒への指導、朝食指導																																			
家庭・地域との連携	給食だより、保健だより、PTAだより、地場産物・旬の食材の使用 学校給食試食会、給食週間ポスターの掲示、栄養士からの指導：バランスの良い食事																																			

平成 年度 食に関する指導の年間指導計画 (4歳児)

食に関する指導の目標		進んで食事をすすめる中で、いろいろな食べ物に親しむ。											
期のねらい		〇いろいろな食べ物に親しみ、食べようとする。											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
食育指導目標 (習慣・マナー・経験)			食事の仕方を知り、楽しい雰囲気の中で先生や友達と一緒に弁当を食べる。 (重・社)	食事のあいさつをきちんとする。 (社・文)	手洗いや食事の準備、後片付け等が自分でできる。 (社)		当番活動に興味を持ち、先生や友達と一緒に喜んで当番活動を行う。 (社)	正しい使用法について知る。 (社・文)	いろいろな食材に興味関心をもち、試す。 (健)	食事の準備や後片付けを手順よくする。 (社)	おなががすくこいや体と食事の関係に関心をもつようになる。 (健)	食事を作ってくれる人に感謝の気持ちをもつ。 (感)	
基本的な生活習慣		トイレや手洗いうがいをする。	お手洗いや食事の準備、後片付け等が自分でできる。 (社)	食事のあいさつをきちんとする。 (社・文)	手洗いや食事の準備、後片付け等が自分でできる。 (社)		当番活動に興味を持ち、先生や友達と一緒に喜んで当番活動を行う。 (社)	正しい使用法について知る。 (社・文)	いろいろな食材に興味関心をもち、試す。 (健)	食事の準備や後片付けを手順よくする。 (社)	おなががすくこいや体と食事の関係に関心をもつようになる。 (健)	食事を作ってくれる人に感謝の気持ちをもつ。 (感)	
栽培活動		イチゴ	サクランボ収穫	夏野菜の収穫	カレパパーティー	夏野菜収穫試食	二十日大根	冬野菜の種まき	サツマイモ収穫	焼き芋パーティー	ももつき	ジャガイモ苗植え	冬野菜のみそ汁
絵本・図鑑		月刊絵本「エースひかりのくに」(年間を通して) 『たからものななあに?』 『食べるの大好き』『お弁当』『おべんとう』 『おべんとうなあに?』 『あさごはんでももり』	『やさいたちのおしゃべり』 『ははのはなし』 『いただきます!』 『グリーマンのピーマンマン』 『トマトさん』『やさいのおなか』 『やさいだいすき』 『カレーライスだいすき』 『やさいのおしゃべり』 『ジュンペイのうんち』 『やさいのペット』	『くだものだもの』『こーや』 『おいしいおとなあに』 『たべれるしょくぶつ』 『べんとうのおかずばいじんじんだ』 『うんちダスマン』 『おいもができた』 『おこめができた』	『うんちのえほん』 『うんちうんちようんち』 『9ひきのうさぎ』 『べんとうのおかずばいじんじんだ』 『おいもができた』 『おこめができた』		『うんちのえほん』 『うんちうんちようんち』 『9ひきのうさぎ』 『べんとうのおかずばいじんじんだ』 『うんちダスマン』 『おいもができた』 『おこめができた』	『うんちのえほん』 『うんちうんちようんち』 『9ひきのうさぎ』 『べんとうのおかずばいじんじんだ』 『うんちダスマン』 『おいもができた』 『おこめができた』	『うんちのえほん』 『うんちうんちようんち』 『9ひきのうさぎ』 『べんとうのおかずばいじんじんだ』 『うんちダスマン』 『おいもができた』 『おこめができた』	『うんちのえほん』 『うんちうんちようんち』 『9ひきのうさぎ』 『べんとうのおかずばいじんじんだ』 『うんちダスマン』 『おいもができた』 『おこめができた』	『うんちのえほん』 『うんちうんちようんち』 『9ひきのうさぎ』 『べんとうのおかずばいじんじんだ』 『うんちダスマン』 『おいもができた』 『おこめができた』	『やさいたちのうた』『もちつき』『りんごです』『いちごです』『りんごです』『いっぱい やさいさん』『ルラルさんのおちそう』『ラージャのカレー』『ちゃんとしたべなさい』	『やさいたちのうた』『もちつき』『りんごです』『いちごです』『りんごです』『いっぱい やさいさん』『ルラルさんのおちそう』『ラージャのカレー』『ちゃんとしたべなさい』
家庭との連携		〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	〇登園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 〇食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 〇家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 〇朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 〇園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 〇中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 〇学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。	
食に関する指導の内容を示す。		(重)	(重・社)	(社・文)	(社)		(社)	(社・文)	(健)	(社)	(健)	(感)	
食に関する指導の内容を示す。		(重)	(重・社)	(社・文)	(社)		(社)	(社・文)	(健)	(社)	(健)	(感)	

( ) は食に関する指導の内容を示す。(重) 食事の重要性 (健) 心身の健康 (選) 食品を選択する能力 (感) 感謝の心 (社) 社会性 (文) 食文化

平成 年度 食に関する指導の年間指導計画 (5歳児) ○幼稚園

食に関する指導の目標		食・物と体の関係に関心をもち進んで食事をすすむ。 ○簡単な食事のマナーを身につける。 ○健康な生活を送るための習慣や態度を身につける。											
期ねらい		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
食指導目標 (習慣・マナー・経験)			手洗いや食事の準備、後片付け等の仕方が分かり、進んですすむ。 (社)	友達や先生と食事をすすむ中で、必要な食事のマナーについて考える。 (社)	野菜の栽培や収穫を通して、いろいろな食材に関心をもちながら、食事をすすむ。 (健)	夏休み中の生活リズムを身につける。	意欲的に体を動かして運動遊び、お取り組み、おなかすくこと、や体と食事の関係に関心をもち、すすむ。 (健)	当番の仕事や責任をもつことができようとする。 (健・社)	苦手な食べ物でも進んで食べようとする。 (重・健)	様々な食べ物で進んで食べようとする。 (重・健)	食べ物を大切にすすむ。 (重・感)	食べ物の栄養素の働きを知り、3食きちんと食事をとろうとする。 (重・選)	食事にかけかわる様々な人に感謝の気持ちをもち、すすむ。
基本的な生活習慣		自分から手洗い、うがいをしようとする。 ○早寝早起き朝ご飯の習慣を身につける。 ○水分補給、汗を拭く大切さを理解し、すすむ。 ○当番活動や調理活動を通して、調理器具の正しい使い方を覚える。 ○正しい歯の磨き方を覚える、すすむ。											
栽培活動		サクラランポト収穫 夏野菜苗植え 稲の苗植え	ジャガイモ・玉ねぎの収穫 サツマイモ苗植え 夏野菜の収穫										
調理体験・試食		サクラランポト試食	カレーパーティー										
絵本・図鑑		月刊絵本『ワンダーランド』 『たからものはなあに?』 『食べるの大好き』『お弁当ハズ』 『ほくのおおんと』『わたしのおべんと』 『おべんと』 『あさごはんと』	『おにぎり』 『グリマーマンのピーマンマン』 『トマトさん』 『やさいだいすき』 『カレーライスだいすき』 『やさいのおしゃべり』 『おひめさまのカレーライス』 『やさいのペット』										
家庭との連携		○登降園時の際、幼児の食生活や生活習慣について情報交換をし、連携を図る。 ○食育タイムを配布したり、園だよりに食育コーナーを掲載したりすることで、季節にあった知識や食育に関する情報を発信する。 ○家庭訪問を行い、幼児のアレルギーや偏食傾向、身体状況などを聞き、個別対応ができるよう配慮する。 ○朝食についての大切さや生活リズムや健康管理について啓発していく。 ○園での栽培活動の様子をホームページで知らせたり、収穫したものを持ち帰り、家庭で調理してもらったりする。 ○食中毒の予防について呼びかけ、弁当の衛生面に配慮してもらおう。 ○学級懇談会でそれぞれの各家庭の食生活や生活習慣などについて意見交換を行う。											
紙芝居													
家庭との連携													

食にかかわる様々な人に感謝の気持ちをもち、すすむ。

○園だよりなどで、規則正しい食生活を身につけることの大切さを知らせる。  
○就学に向けて、生活リズムを整えたり、朝食の大切さを知らせたり、基本的な生活習慣の見直しを図る。  
○小学校へ給食参観に行ったり、できるだけ時間内に食事が食べられるよう指導したりするなど、園と家庭で連携していく。  
○一年間の幼児の成長を伝え、安心して進学できるようにする。

米・柿の収穫  
冬野菜種まき  
苗植え  
おにぎりパーティー  
焼き芋パーティー  
もろつき  
冬野菜のみそ汁

『丈夫な体を作る食べ物〜赤の野菜〜』  
『暖かからず〜緑の野菜〜』  
『強い力が出る食べ物〜黄色の野菜〜』  
『おいしい味のお手洗い〜白の野菜〜』  
『おいしいおとなあに』  
『たべれるしょくぶつ』  
『たべものランドおまつりだ』  
『やさいクイズこれなーんだ!?!』  
『やさいなんでだいさらい』

知識や食育に関する情報を発信する。  
○気候や活動の内容に応じて水分を補給する必要性を保護者に伝え、協力を依頼する。  
○風邪を予防するため、家庭でも睡眠や栄養、衛生面に配慮してもらえよう。寒い時期の健康的な生活に協力を呼びかける。  
○園と家庭が一体になり子育て支援ができるよう参観日や園だよりで理解を深める。  
○就学時健康診断の時期になり、就学に向けて今の生活を充実させることや、小学校生活への期待をもたせることの大切さを伝える。

＜＞ 食に関する指導の内容を示す。 ＜重＞ 食事の重要性 ＜健＞ 心身の健康 ＜選＞ 食品を選択する能力 ＜感＞ 感謝の心 ＜社＞ 社会性 ＜文＞ 食文化

平成 年度 食に関する指導の年間指導計画 (第 1 学年) ○○○小学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活 教科・道徳 総合的な学習	生活		がっこう なつる みんが くあう	なつる みんが くあう									
	園遊		つまいもをそだて さよう		おおきな な			サラダでけんき					
	道徳		げんきなこ						ばんの ごした		きく て		
食育目標	楽しく食べよう	朝ごはんを食べてよう	衛生について	よい食べ物で	姿勢よく	夏の間規則を	野菜を食	好き嫌いしない	よく食べよう	ベラベラ	感謝して	寒い体を	1年間の反省を
学級活動	・食事のマネーを食	・朝ごはんを食	・食のマネーを知										
特別活動	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間	給食の時間
見学会活動		1年生となかよくす											6年生を送る
学校行事		身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足	身体旅行・遠足
職場訪問等	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・じゃがいも・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう
食文化の伝承	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句
行事食	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立	入学進級お祝い献立

家庭・地域との連携  
 給食日より・食育日より・学年日より・保健日より・給食試食会・学校保健委員会・食育講演会  
 勝浦高校生との共同による農作業体験教室  
 (注) 食に関する指導内容を示すこと  
 (重) 重要事項 (健) 栄養や摂取 (選) 安全性 (感) 感謝 (社) 社会性 (食) 食文化

平成 年度 食に関する招致の年間招致計画 (第2学年)

〇〇小学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教科・道徳総合的な学習	生活		やきいをそだてよう わだたしんしよ	をまう だん	をよ さう			やさいをそだてよ つとよまくなろう			あしたへ アジ			
	国語	たぐん											「きせつ アツク」 を作ろう	
	道徳			くりの	サダダつ									
	食育目標	楽しく食べよう	朝ごはんを食べよう	衛生について	姿勢よく食べよう	夏の規則正しい生活をしよう	野菜を食べよう	好き嫌いしないで食べよう	よく食べよう	野菜をたくさん食べよう	感謝して食べよう	親まに負けない体を作ろう	1年間の反省をしよう	
学級活動	学級	・すきはらいしないで食べよう ・朝ごはんを食べよう												
	活動	給食の時間	食事をマナーを守り おいしい姿勢で食べよう (重)	よくかき食べよう (健)	食べ物をよく知ろう (健)	好き嫌いを気にせず に食べよう (健)	季節の食生活を 知ろう (食)	野菜をたくさん 食べよう (食)	野菜をたくさん 食べよう (健)	感謝して食べよう (文)	自分の食べ方を 振り返ろう (健)	感謝して食べよう (重)	6年生を送る会	反省をしよう (社)
児童会活動	児童会	1年生となかよくする会												
	学校行事	身体測定・遊足 修学旅行												
地場産物活用	地場産物活用	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう	米・そば・きゅうり・たまねぎ・アスパラ・ピーマン・さやえんどう
	食文化の伝承	端午の節句												
行事食	行事食	入学進級お祝い献立	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	かみかみ献立 小魚・海草	
	家庭・地域との連携	給食だより・食育だより・学年だより・保健だより・保食試食会・学校保健委員会・食育講演会 勝浦高校生との共同による農作業体験教室												

(注) 食に関する招致内容を示すこと

(重) 重要性 (健) 健康や摂取 (遊) 安全性 (感) 感謝 (社) 社会性 (食) 食文化



平成 年度 食に関する指導の年間指導計画 (第3学年)

〇〇小学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科・道徳・総合的な学習の時間	国語								すがたをかえ る大豆				
	社会		わたしたちの まちはどんな まち	わたしたちの 町のようす			見直そうわた したちの買 い物			調べようもの をつくるしごと (にんじん農 夫)	さぐってみよう 昔のくらし		
	理科	たねをまこう		植物のつくりと そだち				植物の一生					
	体育科 (保健領域)			毎日の生活と けんこう									
特別活動	道徳						生きていける し				わが村へのお くりもの	ホームステイ	
	総合的な学習の 時間												
	食育目標	楽しい給食に しよう(重・社)	協力して準備 と片付けをしよう(社)	よくかんで食 べよう(健)	残さず食べよ う(健・感)		好き嫌いを 食べよう(健)	朝ごはんを食 べよう(健・重)	マナーを守 つて食事をしよう(社)	健康と食事 について知ろう(社)	感謝して食 べよう(感)	残さず食べよ う(健・感)	1年間をふり返 ろう(重・健・ 感・社)
	学級活動		朝ごはんを食 べよう	菌みがき指導	夏休みのくらし								春休みのくらし
学級活動	学級の時間	給食のきまりを 覚えよう	協力して準備 と片付けをしよう	かむ大切さを 知ろう	暑さに負けない 体をつくろう		朝食の大切 さを知ろう	好き嫌いを 食べよう	正しい食事 のマナーを身 につけよう	寒さに負けない 体をつくろう	郷土の特産物 や食べ物を知 ろう	牛乳を飲もう	バランスよく食 べよう
	児童会活動	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送	片付け調べ 給食放送
	学校行事	身体測定	遠足	食育月間	個人懇談	親子料理			運動会				卒業式
	献立作成の ポイント	新入生が食べ やすい、春が 感じられる工 夫をする。	疲労予防のた め鉄分が十分 にとれる献立 を工夫する。	よくかまなけ ればいけない 食材を使用す る。食中毒防 止に配慮する。	疲労回復のた めクエン酸 を含む食材・ 献立を工夫す る食中毒防止 に配慮する。	きゅうり・トマト ピーマン	れんこん	すだち・さつまい も・枝豆	れんこん・里芋・ サラダ大根・ミニ 白菜・ブロッコ リー	カルシウムが 多くとれる献 立を意識す る。	体を温める食 事の工夫をす る。冬野菜をた っぷり使用する。 冬野菜をた っぷり使用する。	地場産物、郷 土料理と入 れる。卒業 生のリクエス トメニューを 実施する。	食物繊維を多 く含む食材を 使用する。卒 業生のリクエ ストメニュー を実施する。
献立作成の 配慮	地場産物活用(町 内産)	米・小松菜 にんじん	にんじん きゅうり	にんじん きゅうり	きゅうり・トマト ピーマン		れんこん	れんこん・里芋・ サラダ大根・ミニ 白菜・ブロッコ リー	プリルルナス・チンゲンサイ・カリ フラワー・れんこん・里芋・サ ラダ大根・れんこん・白菜・ブ ロッコリー	チンゲンサイ・チンゲンサイ・カリ フラワー・れんこん・里芋・サ ラダ大根・れんこん・白菜・ブ ロッコリー	チンゲンサイ・サ ラダ大根・れんこん・白菜・ブ ロッコリー	チンゲンサイ・サ ラダ大根・れんこん・白菜・ブ ロッコリー	にんにく・チンゲ ンサイ・れんこん ・サライ・れんこん ・サライ・れんこん ・サライ
	旬の食材等	にんじん・菊 れんこん	キャベツ・玉ねぎ・ピーマン・ じゃがいも	キャベツ・玉ねぎ・ピーマン・ じゃがいも	枝豆・なす・トマ ト・かぼちや きゅうり		すだち・さつまい も・枝豆	すだち・さつまい も・きのこ・栗	すだち・さつまい も・みかん・大 根・白菜・ゆず 根・白菜・ゆず	さつまいも・みかん・大根・白菜・ 里芋・ゆず	さつまいも・みかん・大根・白菜・ 里芋・ゆず	さつまいも・大 根・ほうれん草・ 里芋・ぼんかん	さつまいも・大 根・ほうれん草・ 里芋・ぼんかん
	食文化の伝承		端午の節句		七夕献立		月見献立	秋祭り			冬至 リスマス	節分	ひな祭り
	その他		入学・進級祝い 献立 毎月19日藍住町 食育の日献立	藍住町学校食 育の日献立									卒業祝い献立
家庭・地域との連携	食育だより・学 年だより・保健 だより・保健だ より・給食試食 会・食生活教室												

( )は食に関する指導内容 (重)食事の重要性 (健)心身の健康 (選)食品を選択する能力 (感)感謝の心 (社)社会性 (食)食文化

平成 年度 食に関する指導の年間指導計画(第4学年)

〇〇小学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科・道徳・総合的な学習の時間	国語						一つの花						
	社会	ごみのしよりと活用		命とくらしをささえる水									
総合的な学習の時間	理科	春のしぜん			ゴーヤを見よう				秋の自然				
	体育科(保健領域)			育ちゆく体とわたし									
道徳			生命の大切さ	感謝する心			生命は一つ	感謝の気持ち					
総合的な学習の時間				世界の水と食			やさしい町藍住						
学級活動	学級活動	楽しい給食にしよう(重・社)	協力して準備と片付けをしよう(社)	よくかんで食べよう(健)	残さず食べよう(健・感)		好き嫌いせず食べよう(健)	朝ごはんを食べよう(健・重)	マナーを守って食事しよう(社)	健康と食事について知ろう(社)	感謝して食べよう(感)	残さず食べよう(健・感)	1年間をふり返ろう(重・健・感・社)
	給食の時間	楽しい給食にしよう(重・社)	協力して準備と片付けをしよう(社)	よくかんで食べよう(健)	残さず食べよう(健・感)		好き嫌いせず食べよう(健)	朝ごはんを食べよう(健・重)	マナーを守って食事しよう(社)	健康と食事について知ろう(社)	感謝して食べよう(感)	残さず食べよう(健・感)	1年間をふり返ろう(重・健・感・社)
特別活動	児童会活動	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送	片付け調べ給食放送
	学級行事	身体測定	遠足	食育月間	個人懇談	親子料理		運動会			給食週間		卒業式
献立作成のポイント	献立作成のポイント	新入生が食べやすく、春が感じられる工夫をする。	疲労予防のため鉄分が十分を工夫する。	よくかまなげればいけない食材を使用する。食中毒防止に配慮する。	疲労回復のためクエン酸を含む食材を工夫する。食中毒防止に配慮する。	疲労回復のためクエン酸を含む食材を工夫する。食中毒防止に配慮する。	疲労回復のためクエン酸を含む食材を工夫する。食中毒防止に配慮する。	カルシウムが多くとれる献立を意図する。	カルシウムが多くとれる献立を意図する。	体を温める食事の工夫をする。冬野菜をたっぷり使用する。	体を温める食事の工夫をする。冬野菜をたっぷり使用する。	食物繊維を多く含む食材を使用する。卒業生のリクエス・トメニエーを実施する。	卒業生のリクエス・トメニエーを実施する。
	献立作成の配慮	米・小松菜 にんじん	にんじん きゅうり	にんじん きゅうり	きゅうり・トマト・ピーマン	れんこん	れんこん・里芋・サラダ大根・ミニ白菜・ブロッコリー	れんこん・里芋・サラダ大根・ミニ白菜・ブロッコリー	フルレタス・チンゲンサイ・カリフラワー・れんこん・里芋・サラダ大根・ミニ白菜・ブロッコリー	チンゲンサイ・サラダ大根・れんこん・カリフラワー・ブロッコリー	チンゲンサイ・サラダ大根・れんこん・カリフラワー・ブロッコリー	チンゲンサイ・サラダ大根・れんこん・カリフラワー・ブロッコリー	にんじん・チンゲンサイ・れんこん・カリフラワー・ブロッコリー
家庭・地域との連携	食文化の伝承		端午の節句	七夕献立	月見献立	秋祭り	秋祭り	秋祭り	冬至・クリスマス	冬至・クリスマス	冬至・クリスマス	節分	ひな祭り
	その他	入学・進級祝い 毎月19日藍住町	食育の日献立										
家庭・地域との連携	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室	食育だより・学年だより・保健だより・給食試食会・食生活教室

( )は食に関する指導内容 (重)食事の重要性 (健)心身の健康 (選)食品を選択する能力 (感)感謝の心 (社)社会性 (食)食文化

平成 年度 食に関する指導の年間指導計画 (第5学年)

〇〇小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語科												
社会												
家庭科												
理科												
道徳												
総合的な学習の時間												
学習目標												
給食指導目標												
特級学習活動												
別動給食の時間												
児童会活動												
クラブ活動												
学校行事												
献立作成のポイント												
立												
作												
成												
の												
配												
慮												
家庭・地域との連携												

<>は食育指導内容を示す。 <重>食事の重要性 <健>心身の健康 <選>食品を選択する能力 <感>感謝の心 <社>社会性 <文>食文化



食に関する指導の年間指導計画(中学校第1学年) 例

〇〇中学校

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会	(歴史的分野) ・制作による生活の変化(重・健) (地理的分野) ・世界の食文化とその変化(重・健・文)									(歴史的分野) ・海外から流入する文化(重・健・文) (地理的分野) ・世界の食文化とその変化(重・健・文)		
理科	第2分野 植物のくらしとなかま ・葉のつくりとはたらき											
保健体育 (保健分野)	心身の発達と心の健康(重・健) ・体の発達・健康											
技術・家庭 (家庭分野)	健康と食生活(重・健・文) ・食生活について考える ・中学生に必要な栄養 ・食事の計画 ・栄養素のはたらきと食品 ・調理計画 ・調理の基本 ・肉の調理 ・野菜の調理											
道徳	生命の尊重(社・健)											
総合的な学習の時間												
学級活動	給食の決まり(重・社) 給食の係・当番計画の作成(社)											
給食時間	給食の決まりを知り、楽しく給食にしよう(重・社)											
生徒会活動	総務作り 月目標を決める 手指消毒 献立放送・後片付け											
学校行事	1学期始業式 入学式 身体測定 家庭訪問											
協立作成のポイント	新入生に慣れ親しむ機会を特 たせ、春が感じられる 工夫をする。											
歌立作成の配慮	米・牛乳 キャベツ 小松菜・たけのこ 生菜・パセリ にんじん ネギ しいたけ ほうれん草 きゅうり											
旬の食材等	春にんじん											
食文化の伝承	端午の節句											
その他	入学・進級お祝い献立 食育の日(19日) にし阿波野菜食べよう デー(24日)											
家庭・地域との連携	給食だより 保護だより 食育通信											
学級活動	給食の決まり(重・社) 給食の係・当番計画の作成(社)											
給食時間	給食の決まりを知り、楽しく給食にしよう(重・社)											
生徒会活動	総務作り 月目標を決める 手指消毒 献立放送・後片付け											
学校行事	1学期始業式 入学式 身体測定 家庭訪問											
協立作成のポイント	新入生に慣れ親しむ機会を特 たせ、春が感じられる 工夫をする。											
歌立作成の配慮	米・牛乳 キャベツ 小松菜・たけのこ 生菜・パセリ にんじん ネギ しいたけ ほうれん草 きゅうり											
旬の食材等	春にんじん											
食文化の伝承	端午の節句											
その他	入学・進級お祝い献立 食育の日(19日) にし阿波野菜食べよう デー(24日)											
家庭・地域との連携	給食だより 保護だより 食育通信											

( ) 内は、食に関する指導内容を示す。(重)食の健康 (健)心身の健康 (進)食を選択する力 (進)感謝の心 (進)社会性 (文)食文化

食に関する指導の年間指導計画(中学校第2学年) 例

〇〇中学校

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
社会	(歴史分野) 歴史のなかの農作物(重・感・社) (地理的分野) 世界の食文化とその変化(社・文)								(地理的分野) 地域によって異なる食文化について考えよう(社・文)			
理科	第2分野 動物のくらしとなま(社) いろいろな動物 生命を維持するはたらき											
保健体育 (保健分野)												
技術・家庭 (家庭分野)	(技術分野) 野菜作りの人になろう(1・2学期)(重・感・理・感・社) ～プランター栽培によるダイコンづくり～								環境に配慮した生産(社) 環境への影響を考える ・水を節約し、排水の汚れを減らす			
道徳	望ましい食生活(感・社) 生命の尊重(感)											
総合的な学習の時間	平和学習											
学級活動	給食の決まり(感・社) 給食の長・当番計画の作成(社)	食生活を見直そう(重・理)										
学級活動	給食の決まりを知って、美味しい給食にしよう(重・社)	衛生に気をつけて給食を食生活に大切にしよう(重・理)										
生徒会活動	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	目標を決める 月目標発表 手指消毒 献立放送・後片付け	
学校行事	1学期始業式 入学式 身体測定 家庭訪問	1学期始業式 文化祭 体育祭	2学期始業式 文化祭 体育祭	3学期始業式 文化祭 体育祭	4学期始業式 文化祭 体育祭	5学期始業式 文化祭 体育祭	6学期始業式 文化祭 体育祭	7学期始業式 文化祭 体育祭	8学期始業式 文化祭 体育祭	9学期始業式 文化祭 体育祭	10学期始業式 文化祭 体育祭	
課外活動	新入生に期待感を満たせ、春が感じられる工夫をする。	中学生の栄養摂取基準に沿って6群の食品をバランス良く取り入れる。	旬や産地を工夫し、あじを工夫する。	衛生面に配慮する。	衛生面に配慮する。	衛生面に配慮する。	衛生面に配慮する。	衛生面に配慮する。	衛生面に配慮する。	衛生面に配慮する。	衛生面に配慮する。	
課外活動	米・牛乳 キャベツ 小松菜・たけのこ 生菜・パセリ にんじん ねぎ ほうれん草 きゅうり	米・牛乳 キャベツ 小松菜 きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ にんじん ピーマン・トマト いんげん ピーマン なす・しいたけ	米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト・すだち ピーマン・にんじん なす・しいたけ さつまいも	米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト いんげん ピーマン なす・しいたけ	米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト いんげん ピーマン なす・しいたけ	米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト いんげん ピーマン なす・しいたけ	米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト いんげん ピーマン なす・しいたけ	米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト いんげん ピーマン なす・しいたけ	米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト いんげん ピーマン なす・しいたけ	米・牛乳 キャベツ 小松菜 ネギ 白煮・大根 白ネギ 生菜・レノン ほうれん草 しいたけ	米・牛乳 キャベツ 小松菜 ネギ しいたけ アロココリー 大根 生菜・レノン	米・牛乳 キャベツ 小松菜 ネギ しいたけ アロココリー 大根 生菜・レノン
課外活動	春にんじん	アスパラガス	きゅうり	茄子	お月見献立	七夕献立	きゅうり	茄子	レンコン	カブ	大根	白煮
食文化の伝承		端午の節句										節分献立
その他	入学・進級お祝い献立 食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)	食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)
家庭・地域との連携	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信	給食だより 保護だより 食育通信

( )内は、食に関する指導内容を示す。(重)食を認識する力 (感)感謝の心 (社)社会性 (文)食文化

食に関する指導の年間指導計画(中学校第3学年) 例

〇〇中学校

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会	(公民的内容) くらしの中に息づく文化(社・文)									(公民的内容) ・生命をおびやかす食糧と水の不足(重・健・社・環)		
理科										第2分野 自然と人間(社・環) ・人間と環境 ・自然と人間の関わり		
保健体育 (保健分野)						健康な生活と病気の予防(重・健) ・変生活と健康						
技術・家庭 (家庭分野)						幼児の生活と遊び(重・健・社) ・おやつ作り				わたしの成長と家族(社・環) ・中学生と家族のかかわり ・これからのわたしたちと家族の関係		
道徳					私たちの郷土(社・文)							
総合的な学習の時間						幼児ふれあい学習体験						
学級活動	給食の楽しみ(重・社) 給食の張・当番計画の作成(社)									受験期の健康(重・健)		
給食時間	給食の楽しみを期つて、楽しい給食にしよう(重・健)					三食きちんと食べよう(重・健)				郷土の食文化を知ろう(文)		
生徒会活動	目標作り 月目標を決める 手指消毒 献立放送・後片付け					月目標を決める 1学期の反省 手指消毒 献立放送・後片付け				月目標を決める 手指消毒 献立放送・後片付け		
学校行事	1学期始業式 入学式 身体測定 家庭訪問					2学期始業式 文芸祭 体育祭				2学期終業式 生徒会役員選挙		
献立作成のポイント	新入生に期待感を持たせ、着かぜられる工夫をする。					骨や肉を工夫にし、あつたに配する。 取り入れる。 衛生面に配慮する。				秋を温める食事の工夫をする。 冬野菜を多くとり入れる。		
献立作成の配慮	米・牛乳 キャベツ 小松菜・たけのこ 生菜・パセリ にんじん ネギ しいたけ ほうれん草 きゅうり					米・牛乳 小松菜・きゅうり ネギ・じゃがいも 玉ねぎ ミニトマト いんげん ピーマン なす・しいたけ				米・牛乳 キャベツ 小松菜 ネギ 白菜・大根 白ネギ 生菜・レノン ほうれん草 しいたけ		
旬の食材等	春にんじん					きゅうり				大根		
食文化の伝承						鶏牛の燗汁				お正月料理・七草がゆ 御開き		
その他	入学・進級お祝い献立 食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)					夏の衛生週間 クマカシ献立 食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)				クリスマス 食育の日(19日) にし阿波野菜食べようデー(24日)		
家庭・地域との連携	給食だより 保護だより 食育通信					給食だより 保護だより 食育通信				給食だより 保護だより 食育通信		

( )内は、食に関する指導内容を示す。

(重)重食生活 (健)健康増進 (社)社会性 (文)食文化

# 第5章 学校給食における地産地消

## 1 地産地消の教育的意義

### (1) 趣旨

近年、我が国では、「外食」あるいは調理済み食品や惣菜、弁当といった「中食」を利用する傾向が増大しており、調理や食事を家の外に依存する「食の外部化」が進展している。

こうした現代の大人の食生活は、子供の食習慣の形成に大きく影響しており、脂質の過剰摂取や野菜の摂取不足、朝食の欠食に代表されるような栄養の偏りや食習慣の乱れが指摘されている。

食べるという活動は、本来、野菜などの栽培、食材の収穫、調理、食事、体の中での消化や吸収、そして体をつくり活動するエネルギーにしていくという一連のものである。学校給食に地場産物を使用し、学校における食育教材として活用することによって、こうした生産・流通・調理・食事・消化・吸収に至る一連の食の過程を系統立てて学習することができる。

そしてこの学習の過程で、食の安全や栄養のバランスなど、食に関する知識と食を選択する力を習得するとともに、自然の恵みや生産に携わる人々への感謝の心など、豊かな人間性をはぐくむことができる。

徳島県は、豊かな自然と新鮮でおいしい食材に恵まれている。身近な地域の食材を教材として活用し、農林水産物の生産や収穫に携わり地域の人々との交流を深めるとともに、それを学校給食で食べる活動を通して、徳島ならではの「地域に根ざした食育」を学校において体験的に実施する。

### (2) ねらい

- ① 地域で生産される食材の食体験（給食）を核とした食育を実施することにより、各教科等における「食に関する指導」を有機的に結び付け、食を総合的に学習する。
- ② 地域の人々との交流を通して、食生活は生産者をはじめ地域の多くの人々の労苦や努力に支えられていることを認識するとともに、地域の一員としての自覚や地域の人々に対する感謝の心をはぐくむ。
- ③ 新鮮でおいしい徳島の食材を用いた学習を通して、徳島の自然の豊かさを認識するとともに、食料の生産が自然の恩恵の上に成り立っていることや、農業等への理解を促進する。
- ④ 郷土料理や伝統料理の学校給食や学習を通して、伝統ある優れた食文化や、地域の特性を生かした食生活を継承し発展させる。

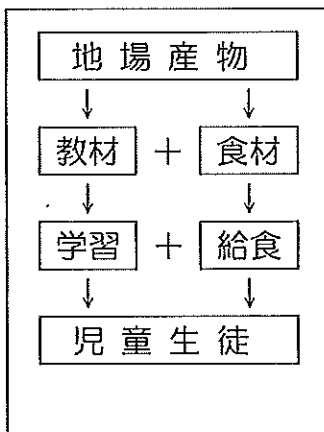


## 2 教育としての地産地消の展開

### (1) テーマ

地域に根ざしたオンリーワン食育の推進

### (2) 学校給食における地産地消とは

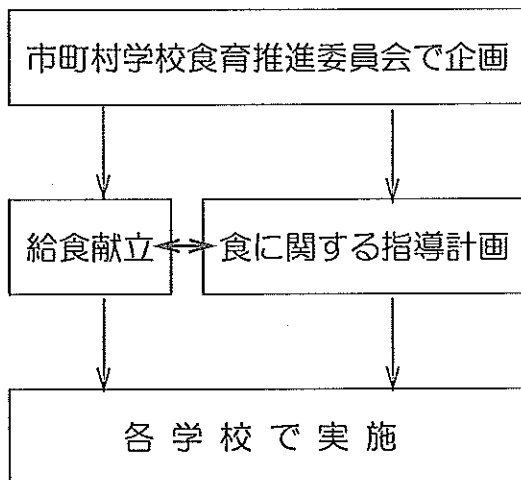


一体的に実施

- 地場産物（県内産）を
- 「教材」および「食材」として一体的に活用し、
- 地域の自然や産業、文化等について学ぶとともに、学校給食で食し、
- 「食」を総合的に学習すること。

### (3) 推進方法

○地場産物を、「給食献立」と「食に関する指導」に一体的に活用するため



- 市町村学校食育推進委員会で
- 地場産物を活用した給食献立と食に関する指導の計画を企画・調整し、
- 各学校において学校食育リーダーがコーディネートし実施する

# 第6章 学習指導例

小学校第2学年 生活科学習指導案

## 1 小学校指導例

平成 年 月 日 第 校時  
〇〇〇小学校 2年 組 名  
授業者 T1  
T2 栄養教諭/学校栄養職員

### 1 単元名 やさいをそだてよう

### 2 単元設定の理由

2年生に進級した児童は学校生活にも慣れ、学校内外でいろいろなことに取り組んでいる。生活科の学習においても、学校内や地域の環境での活動を経て、自分なりの興味や関心が出てきている。そこで、本単元では、おのおのの興味や関心を出発点とした野菜の栽培を行う。児童は、普段、何気なく食事を摂っているため、毎日の献立に使われている野菜の名前や種類など、意識せずに過ごしている。身近な通学路の畑などにも様々な種類の野菜がつけられているが、それが毎日食べている野菜とは結びつかず、給食にもたくさん使われている徳島県の野菜を知らない児童が多い。野菜が苦手で、いつもほんの少ししか食べることができない児童もいるため、献立によっては、給食の残食が多い日もある。嫌いな理由としては、「まずい」・「苦い」・「くさい」を挙げている。好き嫌いしないで食べることの大切さや野菜が体によいことは漠然と知っているが、実際には嫌いな野菜はなかなか食べられないものである。

本校では、1年生では草花を育て、2年生では、収穫できる野菜の栽培を行う。野菜の栽培には、地域や時期に合った野菜の選択が重要である。野菜の栽培は難しく、本や資料を用意したり、野菜に詳しい人に「野菜の先生」になっていただいたりして、児童自身が自分なりに解決できたという達成感を味わえるようにしたい。本単元の学習では、栄養教諭との連携を密にし、野菜の名前や栄養、野菜を使った料理などの学習を随時挟むことにより、栽培に対する意欲が維持できるように働きかける。栽培活動を通して、変化や成長の様子に関心をもち、野菜も生命をもっていることに気付くとともに、野菜への親しみをもち大切に育てていくことができるようにしたい。また、栽培した野菜は「野菜パーティ」で調理し、感謝の気持ちをもって「いただく」ことができるようにしたい。

本時では、実物の野菜をさわったり、においをかいでみたりすることで、野菜に親しみをもたせたい。そして、野菜のよさを知ることにより、嫌いな野菜でも進んで食べようとする意欲をもつことができるようにする。

### 3 単元の目標

- ・野菜を栽培することを通して、育て方を調べたり、意欲的に世話をしたりして、その成長の様子に関心をもちることができる。
- ・世話をして育ててきた野菜の成長の様子を絵や文章で表現するとともに、成長や収穫の喜びをいろいろな方法で伝えることができる。

### 4 単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
育てている植物に関心を寄せ、繰り返し関わろうとしている。	植物の育つ場所、変化や成長について考え、世話の仕方を工夫している。	植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。

### 5 食育の視点

健康に過ごすために、野菜の働きを理解し、好き嫌いしないで野菜を食べようとする。〈心身の健康〉

## 6 単元計画

第1次	育てる野菜を決めよう	1時間
第2次	野菜の世話をしよう	6時間 (本時6/6)
第3次	野菜パーティをしよう	2時間
第4次	野菜のことを伝えよう	2時間

## 7 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・野菜の名前や形を知り、親しみをもつことができる。
- ・野菜が体によいこと知り、すすんで食べようとする意欲をもつことができる。

### (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意事項		評価規準
		T1	T2	
10分	1 ワークシートで好きな野菜、嫌いな野菜、食べたことがない野菜を確認する。	○野菜の確認をしながら、野菜に興味をもたせる。	○まちがしやすい野菜を、実物を見せて確認させる。	
やさいと なかよくなるろう				
15分	2 野菜をさわったり、においをかいだりして、感じたことを発表する。	○児童が手や鼻で感じたことを発表させる。 ・形 ・におい ・手ざわり等 ○発表する児童の意見を他の児童がよく聞くようにさせる。	○はてなボックスの中の野菜の調べ方を説明する。 ○野菜の特徴が分かるような板書を工夫する。	・野菜に親しみをもっている。
5分	3 野菜が体によいことを知る。	○野菜が体によいことに気付かせる。	○野菜の働きを知らせる。	・野菜の働きを理解している。
10分	4 苦手な野菜を食べる工夫を考える。	○家庭での調理の工夫についても考えることができるようにさせ、家の人の願いにも気付かせる。	○自分にできることがあることに気付かせる。	・野菜を食べようとする意欲をもっている。
5分	5 次の活動について考える。	○自分が育てた野菜を使って野菜パーティをすることを知らせる。		

### (3) 評価および指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	○野菜が体によいことを理解でき、野菜を食べるために自分で実践することを考えている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	○野菜の働きをイラストなどを使って視覚的にわかりやすく示す。 ○友だちの発表を参考に、自分にできることを考えさせる。

## 8 他教科との関連

国語科「かんさつ名人になろう」

9 細案

	T 1	T 2
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな野菜の絵がありますね。みなさんの好きな野菜には○を、嫌いな野菜には×を、食べたことのない野菜は△を書きましょう。では始めましょう。(一緒に○印をつける)</li> <li>・好きな野菜や少し苦手な野菜もあったね。このプリントのほかにもたくさんの野菜があります。今日は「やさいとなかよくなるろう」という勉強をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・れんこんは、これです。穴があいているね。レタスとキャベツ まちがいやすいね。かぼちゃ こんな形をしてるんだよ。しめじ 小さくてかわいいでしょ。等</li> <li>・「やさいとなかよくなるろう」貼る。</li> </ul>
2	<p>(黒板の左に板書)</p> <p>ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人ずつ</li> <li>・はこから出さない</li> <li>・こたえを言わない</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px auto;"> <p>形 におい 手ざわり</p> </div> <p>(班ごとに「はてなボックス」で活動する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・では、1班の人前に出てきてください。ほかの班の人に分かるように話してください。</li> <li>・みなさんも何の野菜か考えながら聞きましょう。</li> </ul> <p>○どんな形をしていましたか。</p> <p>○手ざわりは・・・</p> <p>○においは・・・</p> <p>○中の野菜は何でしょうか。</p> <p>(班の児童にいつせいに答えを発表させる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の班の人出てきてください。</li> </ul> <p>(8班がすべて発表する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、みなさんが野菜と仲良くなるために、こんな箱「はてなボックス」を用意してきました。</li> <li>・この箱の中には野菜が入っています。先生がさわってみるね。</li> <li>みなさんもさわってみたいですか。では、ルールがあります。</li> <li>○順番に1人ずつ・箱から出さない</li> <li>○そーっとさわること。</li> <li>○手のおいもかいでもみましょう。</li> <li>○中の野菜が分かってもないしょ。</li> <li>○後でどんな形か、においは、手触りは、を聞きますよ。教えてくださいね。</li> </ul> <p>「やさしいいろいろ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書する</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな特徴をもっていましたね。おもしろいね。こんな野菜を食べるとどんな体にいいことがあるのか、栄養教諭の○○先生に聞いてみよう。</li> </ul>	<p>(ワークシートを配る。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの1に野菜を食べると体にいいことを書きます。( )の中にあてはまる言葉を考えてみましょう。</li> <li>○(びょうき)にかかりにくい。</li> <li>○(うんち)がしやすい。</li> <li>○(つかれ)にくい</li> </ul> <p>(詳しく説明する。)</p> <p>「やさいを食べるくふう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜はとっっても体にいいんだね。みんなもがんばって食べていると思うけれど、嫌いな野菜をどうがんばって食べていますか。何か工夫していますか。</li> <li>・なるほど・・・小さくしたり、好きな味にしてくれていたんだね。</li> <li>・おうちの人とはどんな願いでお料理してくれているのかな。</li> </ul>	<p>(箱の野菜を出す。箱を横に置く)</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんは、今日野菜の勉強をして、野菜と仲良くなれましたか。</li> <li>・次はみなさんが育てた野菜を使って「野菜パーティ」をします。</li> </ul>	



小学校第4学年 体育科学習指導案

平成 年 月 日 ( ) 第 校時  
 ○○小学校 4年 組 名  
 指導者 T1  
 T2 養護教諭  
 T3 栄養教諭/学校栄養職員

1 単元名 育ちゆく体とわたし

2 単元設定の理由

体をよりよく発育・発達させるためには、食事、運動、休養及び睡眠のバランスが重要な役割を果たしている。そのためにも、望ましい生活習慣を成長期である今から身に付ける必要がある。

本学級の生活に関するアンケートの結果を見ると、83%の児童が毎日朝食を食べてきているが、17%の児童は食べていないことがある。好き嫌いについても、嫌いなものがある児童は69%おり、中でも野菜を嫌う児童が多い。また、休み時間の過ごし方を見ると、外で遊ぶ児童と屋内で遊ぶ児童は半数ずつで、進んで体を動かす児童が少ない。睡眠時間についても、8時間未満の児童が14%おり、睡眠の質と量を考える必要がある。

そこで、本時の学習では、自分の体の発育・発達に関心をもち、体の成長に食事、運動、休養及び睡眠がなぜ大切なのかを理解し、自分の体は自分でよりよく育てる必要があることに気付かせたい。指導にあたっては、学級担任・養護教諭・栄養教諭（学校栄養職員）が連携を図ることで、生活習慣への関心を高めていきたい。特に、調和のとれた食事の必要性については、栄養教諭が、多種類の食品をとることができるよう工夫されている学校給食を活用しながら、本県の成人で不足している野菜摂取量についても触れることにより、食べ物をバランスよく食べることの大切さについて理解させたい。

そして、よりよい発育・発達のために、学んだことを自分の生活に生かし、健康で安全な生活をしようとする意欲や態度を育てたいと考え、本単元を設定した。

3 単元の目標

体の発育・発達について理解し、自分の生活を健康で安全なものにしようとすることができる。

4 単元の評価規準

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
体の発育・発達について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	体の発育・発達について、課題の解決を目指して実践的に考え、判断し、それらを表している。	体の発育・発達について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

5 食育の視点

心身の成長や健康の保持増進のために、バランスのよい食事について理解し、自らの健康を管理していかうとする態度を身に付ける。＜心身の健康＞

6 指導計画

- 第1次 体の発育・・・1時間
- 第2次 思春期の体と心の変化・・・2時間
- 第3次 体のよりよい発育・・・3時間（本時3／3）

## 7 本時

### (1) 目標

- ・体をよりよく発育・発達させるには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が大切であることを理解することができる。 (知識・理解)
- ・食事、運動、休養及び睡眠の大切さについて考え、よりよい発育のために生活に生かそうとする意欲や態度をもつことができる。 (関心・意欲・態度)

### (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	評価方法
5分	1 体の成長や健康のために大切なことは何か話し合い、本時のめあてをつかむ。	○出てきた意見を食事、運動、休養及び睡眠に分けて整理する。(T1)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     すくすく育つためには、                      どんなことに気を付けて生活したらいいのか考えよう。                 </div>			
20分	2 調和のとれた食事の大切さについて話し合う。 ・栄養教諭の話	○今日の献立の材料を3つの働きに分ける活動を通して、食べ物をバランスよく食べることの大切さに気付かせる。(T2) ○本県の野菜摂取量の状況やアンケート結果を示し、ビタミンを多く含む野菜の摂取の大切さについて考えさせる。(T2)	・調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠の大切さを理解している。
15分	3 運動や休養の効果について話し合う。 ・養護教諭の話	○運動の効果について知らせる。(T3) ○成長ホルモン分泌量のグラフを示すことにより、睡眠と成長の関係を理解できるようにする。(T3)	・学習したことを自分の生活に生かそうとしている。
5分	4 学習のまとめをする。 (自分の生活を振り返り、めあてをもつ。)	○食事、運動、休養及び睡眠の大切さについて確認し、自分の生活に生かそうとする意欲をもたせる。(T1)	(ワークシート)

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	○よりよい発育のためには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が大切であることを理解している。 <知識・理解> ○食事、運動、休養及び睡眠の大切さを知り、よりよい発育のために自分の生活に生かそうとする意欲をもっている。 <関心・意欲・態度>
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	○教師が個別に資料を示したり、一緒に板書を確認したりすることにより、具体的に理解できるようにする。 <知識・理解> ○自分の生活を振り返らせ、何が問題点なのか気付くように教師が補説する。 <関心・意欲・態度>

## 8 他教科等との関連

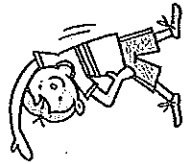
学級活動で「食品について知ろう」の学習をしている。たくさんの食品の中からバランスよく栄養をとること、1日3回きちんと食べること、野菜をしっかりとることを確認できるようにする。

9 指導細案

指導者の発問・支援	児童の活動・反応
<p>T1:この前の授業では、体の発育や思春期の体と心の変化を勉強してきました。今日は、体の成長や健康で過ごすために大切なことは何かを考えていきます。健康で大きく成長するためには、生活で何に気を付ければいいでしょう。</p>	<p>食事に気を付ける。 運動する。など</p>
<p>T1:みなさんが健康で大きくなるためには、食事、運動、睡眠が大切です。「すすく育つためにはどんなことに気をつけて生活したらいいのか考えよう」というテーマで勉強します。</p>	
<p>T3:食事をするときには、栄養のバランス、野菜をしっかり食べる、1日3回きちんと食べることなどに気を付けなければなりません。栄養バランスのよい食事とは、赤・緑・黄色の3つの働きの食べ物がそろっている食事のことをいいます。では、バランスのよい食事とはどんなものなのか給食を例に考えていきましょう。</p>	<p>ワークシートに記入</p>
<p>T3:これは、平成24年に発表された、ある食べ物をたくさん食べている順番に都道府県を並べている表です。この食べ物は何でしょうか。</p>	<p>ごはん、肉など</p>
<p>T3:答は野菜です。徳島県は、男の人が47都道府県中47位、女の人が46位でした。みなさんの好き嫌いアンケートでも嫌いな食べ物に野菜がたくさん入っていました。野菜には、みなさんを病気から守ってくれるビタミンや、お腹の調子をよくして外に出してくれる食物繊維などがたくさん含まれています。体の調子をよくする野菜をしっかり食べよう。</p>	
<p>T3:朝食もしっかりと食べて、1日3回きちんと食事をしましょう。そして、みなさんが大人になっても健康でいられるように今から体をつくっていきましょう。</p>	
<p>T2:運動と睡眠についてお話しします。運動するとどんないいことがあるでしょう。</p>	<p>骨や筋肉が丈夫になる。 お腹がすく。など</p>
<p>T2:運動すると、食欲がでたり、気分がすっきりしたり、病気にかかりにくい体をつくったりします。その上、体が大きく育つために必要な成長ホルモンの出る量も増えます。また、1日の中で成長ホルモンが一番多く出るのは、午後10時～午前2時です。眠りにつくと、約2時間後に成長ホルモンが出始めます。</p>	<p>ワークシートに記入</p>
<p>T2:睡眠には他にどんな役割があるでしょう。</p>	<p>疲れがとれる。 眠気がなくなる。など</p>
<p>T2:睡眠は、体の疲れだけでなく、脳や心の疲れも取ってくれます。休み時間や放課後、休みの日には外で体を動かして体力をつけ、食事をしっかり食べましょう。そして、夜は早く寝て、成長ホルモンをたくさん出して、すすくと成長できるように心がけましょう。</p>	
<p>T1:食事、運動、睡眠がみなさんの成長や健康に深く関係していることがよく分かりましたね。自分がこれから心がけたいことを書きましよう。</p>	<p>ワークシートに記入</p>
<p>T1:ワークシートを持って帰って、今日、学習したことを家の人と話をしてください。そして、家の人からメッセージをもらってください。</p>	



体のよいよい発育



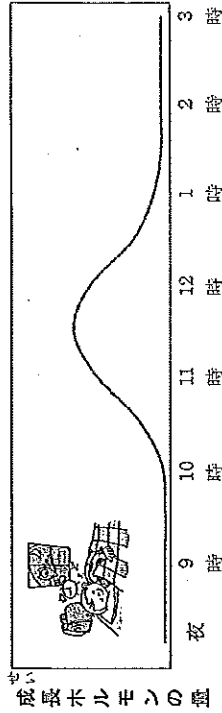
4年1組 名前

1. 今日の給食の材料を3つの働きに分けたいと思います。つづきを書いてみましょう。

材料： 米 牛乳 とり肉 にんじん ミニトマト

体を作るものになる (赤色)	体の調子を整える (緑色)	熱や力のよくなる (黄色)
あじ 油あげ とうふ ちくわ	ほししいたげ みつば	そば米 パン粉 油

2. 自分のねむりざり速ってみよう。ねた時間と90分後(30cm)に線を引きましょう!



3. 体をよりよく発育させるために、あなたが心がけたいことを書いてみましょう。

あうちの人からのメッセージ

---



---



---



---

11 板書計画

食事・すいみん・運動

すくすく育つためには、どんなことに気を付けて生活すればよいのだろう。

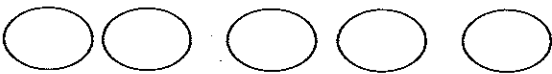
食事で気をつけたいこと

★栄養のバランス

おもに体をつくる

おもに体の調子を整える

おもに熱や力になる



★1日3回きちんと食べる

野菜摂取量

都道府県別  
野菜摂取量  
(男性)  
表

都道府県別  
野菜摂取量  
(女性)  
表

適度な運動

休養・睡眠

★野菜を食べよう

小学校第5学年 家庭科学習指導案

平成 年 月 日 ( ) 校時  
 ○○小学校 年 組 名  
 指導者 T1  
 T2 栄養教諭/学校栄養職員

1 題材名 ゆで野菜のサラダをつくろう

2 題材設定の理由

児童の生活は、塾や習い事、社会体育などで多忙になり、家族とともに調理をしたり、食卓を囲んだりする機会が減ってきている。また、中食や外食が手軽に利用できるようになり、便利な反面不規則な食習慣や偏食、過剰なカロリー摂取などの課題も見受けられるようになってきている。このような状況においては、自分の日常の食事に関心をもち、食事の大切さに気付き、調和のよい食事と調理に関する基礎的な知識及び技術を身に付け、食生活をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育てることは大切であると考えます。

本学級の児童は、5年生から始まった家庭科の学習に対する関心や意欲が高い。特に、自分たちで調理し、試食する調理実習をととても楽しみにしていると答えた児童が○○%いる。しかし、給食においては、偏食や少食のため必要な量が食べられていない児童が○○%いる。また、野菜が苦手な児童も○○%いる。お湯を沸かしたり、ゆで卵を作ったりして、ゆでることに少しずつ慣れていく児童に、ゆで野菜の調理実習での野菜サラダ作りを通して、野菜のおいしさに気付き、野菜の嫌いな児童も進んで野菜を食べられるようになることを願っている。

本題材では、野菜の体内での主な働きを知らせ、身近な野菜をゆでてサラダをすることにより、そのおいしさを実感させたい。そして、調理の仕方や調理用具・器具の取り扱い方について、しっかりと身に付けさせたい。野菜の魅力に気付き、自分の力でサラダをすることに関心をもち、調理する喜びを感じた児童には家庭でも実践させたい。家族のためにゆで野菜のサラダを作ることで、進んでよりよい食生活を送ろうとする実践的な態度を育むとともに、家族のために役に立とうとする態度を育てたい。

3 題材の目標

- ・ゆで野菜の調理に関心をもち、材料や目的に応じた調理をしようとすることができる。  
(関心・意欲・態度)
- ・調理の手順を考えて、材料や目的にあった調理について考えたり、自分なりに工夫することができる。  
(創意工夫)
- ・調理実習の計画にしたがって、安全で衛生的にゆで野菜サラダを調理することができる。(技能)
- ・野菜の体内での主な働きや、ゆでる調理の特性と材料や目的に応じたゆで方を理解することができる。  
(知識・理解)

4 食育の視点

- ・野菜の体内での働きを知り、野菜を摂る大切さが分かる。  
<心身の健康>
- ・調理実習を通してできるようになったことを生かし、ゆで野菜のサラダを作ることができる。  
<食事の重要性>

5 題材の評価規準

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
ゆで野菜の調理に関心をもち、材料や目的に応じた調理をしようとしている。	調理の手順を考えて、材料や目的にあった調理について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	調理実習の計画にしたがって、安全で衛生的にゆで野菜サラダを調理している。	野菜の体内での主な働きや、ゆでる調理の特性と材料や目的に応じたゆで方を理解している。

6 指導計画 (全8時間)

- 第一次 野菜のひみつを知ろう・・・2時間 (本時1/2)
- 第二次 野菜サラダを作ってみよう・・・4時間
- 第三次 家族のために野菜サラダを作ってみよう・・・2時間

## 7 本時の学習

### (1) 目標

- ・野菜の体内での主な働きを知り、野菜を摂る大切さを理解することができる。(知識・理解)
- ・ゆでる調理の特性を知り、野菜に応じたゆで方を理解することができる。(知識・理解)

### (2) 展開

時間	学 習 活 動	指導上の留意点	支 援 ・ 評 価
3分	1 本時の学習のめあてを確認する。	○ふだん食べているいろいろな野菜料理から野菜を食べる意味を考えさせ、本時の学習の意欲を高める。(T1)	
		めざせ 野菜博士！	
7分	2 野菜の体内での主な働きについて知る。 ・主に体の調子を整える。	○野菜の体内での主な働きについて知らせ、その働きは野菜によって異なることを知らせる。(T2) ・おなかのおそうじ ・病気に負けない ・おはだつやつや ○体の調子を整えるためには、必要な野菜の量がある。 ・1日の必要量は300g ・給食では毎日必ず100g ○野菜を「かさ」で確認し、かさを減らすためには加熱調理が有効であることを伝える。	○野菜の体内での主な働きについて知り、野菜を摂る大切さが分かる。 ◎野菜が主に体の調子を整える食品であることを知り、いろいろな野菜を必要量摂ることが大切であることが分かる。 *栄養素の働きによる食品の分類表を示し、具体的な食品名で確認させる。  【知識・理解】
15分	3 生とゆでた野菜の違いについてグループで調べる。	○ゆでる調理により、野菜にどのような変化がおきたか気付かせる。(T1・T2) ・見た目・歯ごたえ・味	
15分	4 ゆでる調理の特性を理解し、野菜に応じたゆで方を知る。	○ゆでる調理の特性に気付かせ、野菜や目的に応じたゆで方を知らせる。(T1・T2) ・かさが減る・アクが抜ける・柔らかくなる ・甘みがでる・殺菌される ・水からゆでるのは、土の中でできるもの ・沸騰してからゆでるのは、土の上でできるもの	○ゆでる調理の特性を知り、野菜に応じたゆで方が分かる。 ◎ゆでる調理の特性を知り、野菜や目的に応じたゆで方が分かる。 *ゆで野菜の調理の示範や試食を通して、ゆで方やゆでる調理の良さが分かるように支援する。  【知識・理解】
5分	5 学習のまとめをする。	本時の学習を振り返らせ、調理実習への実践意欲をもたせる。(T1)	

○ おおむね満足と判断される状況

◎ 十分に満足できると判断される状況

\* おおむね満足できる状況を実現するための支援

8 指導細案

指導者の発問等

予想される児童の反応（※は準備物）

○ふだん食べている食事から、野菜を食べる意味や理由を考えさせ、本時の学習のめあてを確認する。

T1：今日の給食は何か知っていますか。  
 昨日の給食は何でしたか。  
 牛乳以外で、毎日毎日給食にでてくる食べ物は何でしょうか。

にんじん？ 地産地消？

毎日毎日給食にでてくる食べ物は・・・。  
 そうです。毎日毎日給食に出てくる食べ物は野菜ですね。

野菜です。

みなさん、野菜は好きですか。  
 確か苦手な人もいますね。

好きな児童は挙手をする。

○野菜の栄養について知る。

T1：きょうは野菜のことを学習するので、「野菜博士」のT2先生を呼んできました。みなさんも、T2先生のような野菜博士を目指して、きょうの学習をしましょう。

T1：野菜にはどんな働きがあると思いますか。

「血をきれいにする」「骨を強くする」  
 「料理をおいしくする」  
 「おなかのおそうじ」「彩りがきれい」  
 「体の調子を整える」等

T1：野菜博士のT2先生に野菜の体内での働きについて教えてくださいましょう。

T2：野菜は体の中で、大切な働きをしています。大きく分けると、3つの働きに分けることができます。

※野菜の働きの絵カード

「おなかのお掃除」  
 「病気に負けない」  
 「はだをつやつやにする」です。  
 (絵カードを提示しながら説明する。)

そして、この体内での働きは野菜によって含まれている栄養の量によって違ってくるので、いろいろな野菜を摂ることが大切です。

少しの量では必要な栄養がとれないのでたくさん摂ることが必要です。

みなさんが1日に必要な野菜の量は300gです。  
 給食では毎日100gの野菜が摂れるようにしています。

T1：野菜300gってどれくらいか分かりますか。

T2：1日に必要な野菜300gをキャベツだけでとると、これだけになります。(千切りキャベツ300gを見せる。)

※生の千切りキャベツ 300g

T1：これだけのキャベツどうやって食べますか。  
 食べられますか。  
 ゆでるとこうなります。(ゆでたキャベツ300gを見せる。)

ゆでて食べる。ジュースにする。

※ゆでた千切りキャベツ 300g

○生とゆでた野菜の違いについてグループで調べる。

T1：ゆでると何が変わるとおもいますか。ゆでた時の変化をグループで調べてもらいます。  
 (にんじんとキャベツの生とゆでた物を配る。)

※グループ学習用として、にんじん・キャベツの「生」と「ゆでた物」

T1: にんじんとキャベツの生とゆでた物の違いで気がついたことを各グループで発表してください。  
(グループでワークシートに従って、にんじんとキャベツの生とゆでた物の「見た目」「味」「歯ごたえ」について調べてまとめる。)

T1: ゆでるとかさが減ったり、野菜が甘くなったり、柔らかくなったりすることが分かりました。

○ゆでる調理の特性を理解し、野菜に応じたゆで方を知る。

T1: 他に野菜をゆでることで良いことがないか、野菜博士に尋ねてみましょう。

T2: ゆでると野菜の色があざやかになります。  
また、ほうれん草などのアクのある野菜のアクをぬいておいしくくれます。そして、野菜についているばい菌をゆでることで殺してくれます。

T1: それでは、T2先生と一緒に、(きゃべつ)と(ブロッコリー)をゆでる調理をします。  
(T1T2で役割分担をして、ゆで野菜の調理の示範をする。)

- ・洗い方
- ・切り方
- ・ゆで方
- ・さまし方

それぞれのポイントを、説明する。  
(小分けして試食させ、ゆであがりの野菜のおいしさを味合わせる。)

○学習のまとめをする。

T1: 野菜には大切な働きがあることが分かりました。野菜にその大切な働きを体できちんとしてもらうには、みなさんは1日300gの野菜を摂る必要があります。  
そして、たくさんの量の野菜を摂るために、ゆでるとかさが減り、おいしく食べられることが分かりました。  
では、次は学習したことを生かして、ゆで野菜のサラダの調理実習を計画しましょう。

グループでまとめたことを発表する。

ゆで野菜について調べよう！

にんじん      キャベツ

ゆでる前の野菜の味と歯ごたえを調べよう！

	生	ゆでた後
見た目		
味		
歯ごたえ		

	生	ゆでた後
見た目		
味		
歯ごたえ		




※キャベツとブロッコリー  
ボール、ざる、鍋、まな板、包丁等

## 9 板書計画

めざせ 野菜博士！

野菜の料理カードを貼付  
サラダ・煮物・お浸しなど

①野菜のはたらき      主に体の調子を整える

おなかのおそうじ
病気に負けない
はだをつやつやにする

②1日に必要な量    300g  
グループ活動の意見とT2による補足をまとめて板書

③ゆでた時の変化  
生                      ゆでた物

見た目	味	歯ごたえ
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

グループでの発表を板書

# 小学校第1学年 学級活動指導案

平成 年 月 日 ( ) 第 校時  
〇〇小学校 1年 組 名  
指導者 T 1  
T 2 栄養教諭/学校栄養職員

- 1 題材名 おはしめいじんに なろう  
活動内容 (2) キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

## 2 題材設定の理由

本学級の児童は、毎日の給食を楽しみにしている。個人差は若干あるものの、よく食べ、残食もほとんどない。給食の準備や片付けを自分たちでするようになってからは、調理員さんとも接するようになり、給食を残さずに食べようと思う意識も育ってきている。給食時に、自分の食べられる量を考えられたり、苦手な食べ物にも少しずつ挑戦したりして、完食したいという意欲もうかがえるようになってきた。

しかし食べることに對する意欲は高いものの、食べる時の姿勢が悪かったり、食器やはしが正しく持てていなかったりするためか、食器にごはんつぶがたくさんついたままの児童や、食べこぼしが目立つ児童もいる。保護者への食事に関するアンケートからは、食べる時の姿勢、はしの使い方、好き嫌いについて多くの保護者が気になっているということが分かった。児童の給食時のはしの持ち方を見ても、ほとんどの児童が正しく持つことができていない。はしを正しく持てていなくても、その子なりに不自由なく食べられているため、改善しようとする意識は低いのではないかと思われる。また、正しい持ち方が分からないために、自分の持ち方を改められないということも考えられる。

そこで本題材では、はしを正しく持って食事をすることが大切なマナーの一つであるという認識をもたせると同時に、正しいはしの持ち方を理解させたい。さらに、正しくはしを持てるようになるためのトレーニングを行い、実践につなげていきたい。

## 3 題材の目標

正しいはしの持ち方を理解し、正しいはしの持ち方で食事をしようとする意欲をもつことができる。

## 4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
進んではしの持ち方を練習しようとしている。	自分のはしの持ち方を振り返り、食事の際に正しい持ち方を実践している。	正しいはしの持ち方を理解している。

## 5 食育の視点

正しいはしの持ち方を理解し、身に付ける。〈社会性〉

## 6 指導計画

- ・事前指導・・・はしの持ち方についての実態把握
- ・本時・・・学級活動「おはしめいじんに なろう」
- ・事後指導・・・給食時の指導・「豆ひっこしコーナー」の設置による指導

## 7 本時

### (1) 目標

正しいはしの持ち方を理解し、正しい持ち方で食事をしようとする意欲をもつことができる。

### (2) 展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	1 いろいろな料理を食べる時に使う道具について考えたり、給食を食べ終わった後の食器の映像を見て気付いたことを発表したりして、本時学習のめあてをつかむ。	○いろいろな料理の写真について、どんな道具を使って食べるかを黒板に示し、はしの便利さに注目できるようにする。(T1) ○ごはんつぶ等の食べ残しがある食器の映像を見せ、きれいに食べられないのはどうしてか考えさせることにより、本時の課題を明確にする。(T1)	
15分	2 正しくはしを持てるとよい理由を考え、正しいはしの持ち方を知る。	○これまでの経験から考えさせる。(T1) ・こぼさずに食べられる。 ・食器に残さずに食べられる。 ・姿勢がよくなる。 ・かっこいい ○イラストを使い、正しい持ち方が分かるようにする。(T1)	
15分	3 「おひっこしゲーム」をして、正しいはしの持ち方を練習する。	○「おひっこしゲーム」のキットを使い、スポンジや豆をはしで移動させることにより、正しく持とうとする意欲を育てる。(T1・T2)	【知識・理解】 正しいはしの持ち方を理解し、 <u>正しい持ち方で練習しようとしている。</u> (行動観察)
10分	4 本時の学習を振り返り、おはしめいじんになるための自分の目標を考え、発表する。	○教室に、「豆ひっこしコーナー」を作ることと、食事の際に正しいはしの持ち方を確認しようとして声かけをし、おはしめいじんになるための意欲を育てる。(T1)	【関心・意欲・態度】 正しい持ち方を実践しようとする <u>意欲をもつことができる。</u> (めあて用紙・発表)

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断させる状況	はしを正しく持つことの大切さを考えたり、正しい持ち方を習得しようとする意欲的に活動したりできている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	はしの持ち方の練習に興味をわくような手立てを考えたり、成就感が味わえるように声かけをしたりするなど、個別に支援する。

## 8 他教科との関連

道徳「はきはき あいさつ」「きゅうしょくしつをみて」など、道徳の2(1)の学習内容と関連させてマナーや話題を扱うことにより、指導の充実を図る。

9 細案

役割	授業者の発問等	予想される児童の反応
T 1	<p>昨日の晩ごはんは何を食べましたか？</p> <p>先生は最近こんなものを食べました。 (料理の写真を4枚提示する。)</p> <p>これらの料理は何を使って食べますか？ (カレーはどれで食べる？などと尋ねながら、食べられる道具に○、食べられない道具には×をつける。) スパゲッティはフォークがなければ、おはしでも食べられますね。</p> <p>食べる時にはいろいろな道具を使うけれど、一番よく使うのはおはしですね。おはしはフォークのこともスプーンのことでもありますね。</p> <p>これはある日の給食を食べ終わった後の食器です。 (テレビで映像をいくつか見せる。)</p> <p>どうですか？ こっちはどうですか？</p> <p>どうしてごはんつぶが残ったままだと思いますか？</p> <p>そうですね。まだみなさんは上手におはしで集められない人もいます。そこで、今日のめあては「おはしめいじんになろう」です。 (めあてを提示する。)</p> <p>名人ってどういうことでしょうか？</p> <p>おはしの正しい持ち方を聞いたことがある人？</p> <p>おはしが正しく持てると、どんないいことがあると思いますか？</p> <p>こういういいことがあるのですね。みなさんにもこうなっ てほしいと思います。 ではおはしの正しい持ち方を、T 2先生に教えてもらいま しょう。</p>	<p>魚 カレー 野菜炒め・・・</p> <p>カレー パスタ そうめん 焼き魚</p> <p>おはしで食べます。 フォークで食べます。 スプーンで食べます。</p> <p>きれいです。 ごはんつぶを集めてないからだめ です。</p> <p>おはしで集めないからです。</p> <p>プロ かっこいいこと きれいにやること</p> <p>おばあちゃんから聞いた</p> <p>落とさない 姿勢がきれいに見える 食器がきれいになる</p>
T 2	<p>上のはしは鉛筆の持ち方です。下のはしは親指と人差し指の間です。 (T 2がイラストを使い、可動させながら説明をする。児童は自分が持参したはしを使いながら、一緒にやってみる。)</p>	
T 1	<p>難しいですね。練習をしなければ上手になりません。今か</p>	



ら名人になるための修行をします。

(おひっこしゲームのキットを配り、使い方を説明する。児童は友達同士で交代で行い、できているかどうか確認し合う。早くおひっこしするのが良いのではないことを指導する。)

今日1日で名人になれるわけではありません。修行はこれからも続きます。食事の時はいつも修行です。これからどんなことをがんばっていきたいか、名人になるためにはどうしたらいいか、自分のめあてを考えて書いてみましょう。(自分のめあての用紙を配付する。)

では発表してください。

今日は、おはしの正しい持ち方を勉強して、名人になるための修行をしました。正しく持てると、どんないいことがあったでしょうか？

(板書したことを一斉に読ませて、振り返りをする。)

明日から、教室に「豆引っ越しコーナー」を作ります。「豆引っ越しコーナー」を使って練習したり、毎日の食事の時にも、おはしが正しく持てるように、練習したりしていきましょうね。

給食の時に、正しく持つように気を付けます。

家でも正しく持てるように練習します。

## 10 板書計画

			おはしめいじんに なるう			
			ただしくもつと			
カレー	○	△ ○	・きれいにたべられる。	正しいはしの 持ち方イラスト	おはしめいじんに なるために 児童の意見	
パスタ	×	○ ○	・おとさない。			
そうめん	×	○ ○	・きれいにみえる。(しせい)			
焼き魚	×	× ○	…など、児童の意見			

## 11 教材

○「はしの持ち方」イラスト

可動式の正しいはしの持ち方模型があれば、わかりやすい。

○「おひっこしゲーム」キット内容

- ・深めの紙皿
- ・スポンジを小さく切ったもの(10個程度)
- ・大豆や金時豆など、乾燥した豆(10粒程度)
- ・各自が持参したはし

## 小学校第2学年 学級活動指導案

平成 年 月 日 ( ) 校時

〇〇小学校 2年 組 名

指導者 T1

T2 栄養教諭/学校栄養職員

- 1 題材 すききらいしないで食べよう  
活動内容 (2) キ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

### 2 題材設定の理由

#### (1) 児童観

平成24年10月に実施された阿南市内全小学生の生活習慣アンケートの結果では、好き嫌いがあると答えた児童は約6割である。その中の多くの児童は、嫌いな食べ物として野菜を挙げている。また、野菜を毎食食べている児童は約5割にとどまった。

給食の残食をみても野菜料理や豆料理などが多く、苦手なものを食べない傾向も浮かがる。

#### (2) 教材観

生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送るためには、食べることの大切さを理解するとともに、自分自身の健康との関係について考え、主体的に食に関わっていくことが必要である。特に、低学年期においては、食べものには様々なはたらきがあることを知り、食事と体とのつながりに対する関心をもつことが欠かせない。

#### (3) 指導観

本時では、まず紙芝居を見せることで食べものが3つに分けられることに気づかせる。次に食べものはたらきや給食に使われている食品を確認させることで、食事にはいろいろな食品が使われ、それぞれが大切なはたらきをしていることを理解させたい。

また、自分の生活を振り返らせ、目標を考えることで好き嫌いなく食べようとする意欲をもたせたい。そして、家族からの応援の言葉をもらうことで児童の意欲を高めるとともに、家庭への理解を深め実践化につなげていきたい。

### 3 題材の目標

食べ物には、いろいろな働きがあることを知り、好き嫌いなく食べようとする意欲をもつことができる。

### 4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の食生活の問題に関心を持ち、 進んで日常の生活や学習に取り組もう としている。	自分に合ったよりよい解決 方法について考え、判断し、実 践している。	基本的な生活の仕方について理 解している。

### 5 食育の視点

- ・食事にはいろいろな食品が使われ、それぞれに働きがあることがわかる。〈食事の重要性〉
- ・好き嫌いせずに食べようとする。〈心身の健康〉

### 6 指導計画

事前 すききらいアンケート

本時 すききらいしないで食べよう・・・1時間 (本時)

事後 給食指導 ワークシートを家庭に持ち帰り、家庭への啓発をする。

## 7 本 時

### (1) 目標

食べ物には働きがあることを知り、好き嫌いせず食べようとする意欲をもつことができる。

### (2) 展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	1 紙芝居を見る。	T1:「けんちゃんのぼうけん」の紙芝居を読み、食べ物に興味をもたせる。	【知識・理解】 食べものには3つのはたらきがあることを理解できる。(発表)
15分	2 紙芝居を見て気づいたことを発表する。	T1:紙芝居の内容について、振り返らせ、食べ物が3つに分けられ、それぞれに働きがあることに気付かせる。	
すききらいしないで食べよう			
15分	3 食べ物の働きを知る。  ○給食に使われている食品を、働きによって3つに分ける。 ○自分の食べ方について振り返る。	T2:食べ物の働きを具体的に説明し、理解を深める。 ・黄色の星の食べ物 …熱や力のもとになる ・赤い星の食べ物 …血・骨・肉になる ・緑の星の食べ物 …体の調子を整える  T2:給食の食品を確認し、給食には3つの働きの食べ物が入っていることに気付かせる。  T1:好き嫌いアンケートの結果を発表し、自分の食べ方を振り返らせる。	
10分	4 好き嫌いをしないためのめあてを決め、互いにめあてを発表し合う。	T1:自分に合っためあてが選択できるように支援する。	【関心・意欲・態度】 好き嫌いなく食べようとする意欲をもつことができる。 (ワークシート)

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	・食べ物には3つの大切な働きがあることを理解している。 ・自分にあった好き嫌いなく食べるためのめあてを考え、実践しようとしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	・めあてを考えることができるように、机間指導等で確認し助言する。 ・友達の意見を参考に、自分にあうめあてが選択できるよう支援する。

## 8 他教科との関連

生活科において野菜を育てたり、収穫したり、調理したりする体験を通して、食品に対する関心や感謝の気持ちを深める。

9 細案

学習活動	教師の発問・留意点	児童の予想される発問
1 紙芝居を見る。	T1:今日はみなさんが毎日食べている食べ物について勉強します。これから『けんちゃんのぼうけん』という紙芝居を見てもらいます。あとで、いろいろな質問をしますので、しっかり見ていてください。 ～紙芝居～	
2 紙芝居を見て気付いたことを発表する。	T1:けんちゃんはロケットに乗って何色の星に行きましたか。 黄色の星にはどんな食べ物がありましたか。 どんな人が住んでいましたか。  赤色の星にはどんな食べ物がありましたか。  どんな人が住んでいましたか。  緑色の星にはどんな食べ物がありましたか。 どんな人が住んでいましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤色, 黄色, 緑色の星</li> <li>・おにぎり, パン, お菓子, スパゲティ</li> <li>・おすもうさんみたいな人</li> <li>・力もちの人</li> <li>・牛乳, ハンバーグ, 目玉焼き, 魚, 海そう</li> <li>・骨が強い人</li> <li>・筋肉のある人</li> <li>・野菜, 果物</li> <li>・肌がきれいな人</li> <li>・病気になってもすぐに治る人</li> </ul>
3 食べ物の働きを知る。	T2:黄色, 赤色, 緑色の星は, 食べ物の働きで分かれています。黄色の星は, 熱や力のもとになるもの, 赤色の星は, 血・骨・肉をつくるもとになるもの, 緑色の星は, 体の調子を整えるものです。	
○給食に使われている食品を, 働きによって3つに分ける。	T2:みなさんがいつも食べている食事の中にも, それぞれの働きをする食べ物が入っています。例えば, 今日の給食は何でしたか。 T2:今日の給食には, このような食品が使われていました。カードを前に来て, 3つの働きに分けてみたい人はいますか。 T2:一緒に答え合わせをします。 どの働きにも食品が入っていました。 野菜は体の調子を整える働きのほかに, 赤や黄色の食べ物がエネルギーになったり, 血・骨・肉になったりするための手伝いをします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごはん, 牛乳, おでん, 野菜のアーモンド和え</li> </ul>
○自分の食べ方について振り返る。	T1:好き嫌いアンケートの結果はこうなりました。 T1:これからがんばれるめあてを決めて, ワークシートに書いてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの色の食べ物を組み合わせたら元気になった。</li> </ul>
4 好き嫌いをしないためのめあてを決め, 互いに発表する。	T1:どんなめあてを書きましたか。発表しましょう。 T1:おうちの人にも見ていただきましょう。	

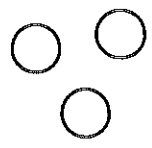
ケンちゃんのぼうけん

すききらいしないで食べよう

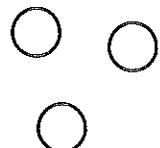
カや  
ねつに  
なる

カもち  
おすもうさんみたい



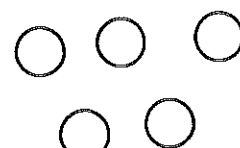
ちいほね  
にくをつくる

きんにくもりもり  
ほねがつよい  
けがしない



体のちよ  
うじをど  
のえる

かぜをひかない  
けががすくなおる



黄色の星の  
紙芝居

おにぎり  
パン  
さつまいも  
スパゲティ

赤色の星の  
紙芝居

にく  
さかな  
わかめ  
とうふ

緑色の星の  
紙芝居

にんじん  
だいこん  
ほうれんそう  
りんご

食品カード

紙芝居は、昭和57年度東京都学校栄養職員研究員作成の「ケンちゃんのぼうけん」を使用しています。

11 ワークシート

## すききらいしないでたべよう！

なまえ( )

熱や力となる



血や肉や骨となる



体の調子を整える



- きょうからがんばること(めあて)
- おうちの人から(おうえんのことば)

小学校第3学年 学級活動指導案

平成 年 月 日 ( ) 校時

〇〇小学校 第3学年 組 名

指導者 T1

T2 栄養教諭/学校栄養職員

1 題材 朝ごはんを食べよう

活動内容 (2) キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材設定の理由

(1) 教材観

毎日を健康に過ごすには、食事・運動・休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要である。そのためには、望ましい食生活を身に付けることが重要であり、1日を気持ちよくスタートするための朝食は大切な役割を担っている。

(2) 児童観

食生活アンケートの結果、ほとんどの児童が毎日朝食を食べている。しかし、朝食の内容について見ると、主食だけの児童やパンとジュース等の児童が半数近くを占めている。また、午後10時以降に寝ているなど十分な睡眠をとれていない児童も3割程度見られた。

一方、簡単な食事を作ることができる児童や、食事の手伝いを週1回以上する児童の割合は7割以上と高い。

(3) 指導観

本時では、食生活アンケートの結果を確認することにより自分たちの毎日の生活を振り返る。次に朝食の役割や朝食パワーを十分に発揮するためには、いろいろな食べ物を組み合わせて食べるとよいことを知らせる。これらをもとに、よりよい朝食をとるために、「自分でできること」と「家の人をお願いすること」の2点について、グループで意見交換することによって、自ら進んで生活リズムを整え、よりよい朝食をとろうとする意欲をもたせたい。

3 題材の目標

自分の生活を振り返り生活リズムを整え、よりよい朝食をとろうとする意欲をもつことができる。

4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常生活を改善することに取り組もうとしている。	日常を健康に過ごすために、生活の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法について考え、判断し、実践している。	朝ごはんを食べることの大切さやよりよい生活の仕方などについて理解している。

5 食育の視点

- ・1日を気持ちよくスタートさせるために、朝食の大切さが分かる。〈食事の重要性〉
- ・毎日を健康に過ごすには、生活リズムを整えることが必要であることを理解する。〈心身の健康〉

## 6 指導計画

- ・事前・・・食生活アンケート
- ・本時・・・朝ごはんを食べよう（本時）
- ・事後・・・ワークシートを家庭に持ち帰り，家庭の理解を深める

## 7 本時

### (1) 目標

よりよい朝ごはんを食べるためにはどうするか，自分なりの方法を考えることができる。

### (2) 展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	1 自分たちの毎日の食生活を振り返り話し合う。	T1：食生活アンケートの結果を知らせ，わかったことを発表させる。	
10分	2 朝ごはんの大切さについて知る。	T2：朝ごはんの役割や元気の出る朝ごはんを知らせる。 ・ワークシートに役割を記入させる。	
どうすれば元気の出る朝ごはんが食べられるのだろう。			
20分	3 よりよい朝ごはんを食べるための方法を考え，発表する。	T1：グループでよい朝ごはんを食べるための方法を考えさせ，紙に書かせる。 ①自分ができること ②家族にお願いすること T2：よりよい朝ごはんを食べるための方法について助言する。	
10分	4 よりよい朝ごはんを食べるために自分なりの方法を考え，ワークシートに記入し，発表し合う。	T1：いろいろな方法の中から自分に合った方法を選択できるよう助言する。	【思考・判断・実践】 友達の意見を参考にしながら， <u>よりよい朝ごはんを食べる方法を具体的に書き，進んで実践している。</u> (ワークシート)

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	・自分に合った朝ごはんを食べるための方法を選び，家庭で実践しようとする意欲をもっている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	・グループの話し合いで活発に意見交換できているか，机間指導等で確認し助言する。 ・友達の意見を参考に，自分に合う方法が選択できるよう支援する。

## 8 他教科との関連

体育科の保健領域において，自分に合った一日の生活リズムについて学習している。食事だけでなく，食事・運動・休養（睡眠）の生活リズムについても再度確認できるようにする。

9 指導細案

時間	主な発問と指導上の留意点
5分	<p>T1: 前に食生活アンケートをしましたね。そのアンケート結果から分かったことを発表してください。発表を聞きながら、(板書する。)</p> <p>みなさんの発表からいろいろなことが分かりました。毎日を健康に過ごすには、運動・休養・食事の調和のとれた生活を続けることが大切ですが、今日はその中で「食事」・特に「朝ごはんを食べよう」について、栄養の専門家〇〇先生と一緒に学習します。</p> <p>みんなで読んでみましょう。</p> <p>「朝ごはんを食べよう」</p>
10分	<p>T2: 実は朝ごはんを食べると目覚ましのスイッチが3つ入ります。どこに入ると思えますか？</p> <p>(1枚ずつ絵カードを見せて考えさせる。)</p> <p>1つ目は、頭に入る「頭のスイッチ」です。朝ごはんを食べると、眠っていた脳が目覚ましてしっかり勉強ができます。</p> <p>2つ目は、おなかに入る「おなかのスイッチ」です。朝ごはんを食べるとおなかの中の腸が動き出し、うんちが出やすくなります。</p> <p>3つ目は、体に入る「体のスイッチ」です。朝ごはんを食べると、体のいろいろなところがポカポカと温まり、動きやすくなって元気に運動ができます。</p> <p>みんなで読みましょう。(板書を示しながら、復唱させる。)</p> <p>では、どんなものを朝ごはんを食べると目覚ましのスイッチが入って元気が出るのか、お話しします。</p> <p>(ごはんやパン等を見せながら、「これは何ですか?」「これは?」と尋ねる。)「ごはんやパンなどを食べると、お話をよく聞くことができ、やる気も起こり、計算もスラスラできます。</p> <p>(牛乳やみそ汁トマトやレタス、バナナ等を見せながら)</p> <p>これは何ですか? これは? (と尋ねる。)</p> <p>汁物や野菜などを食べると、うんちが出てすっきりし、一日、さわやかに過ごせます。</p> <p>(目玉焼きや納豆、チーズ等を見せながら)</p> <p>これは何ですか? これは? (と尋ねる。)</p> <p>これら卵やウィンナーなどを食べると、体は温まり動かしやすくなり、ケガもしません。</p>
20分	<p>T1: では、〇〇先生に教えていただいたことをワークシートの「朝ごはんのはたらき」の( )に書きましょう。</p> <p>T1: 朝ごはんは目覚ましのスイッチで、とっても大切なことがわかりましたね。でも、アンケートをしてみると、朝ごはんを食べてない人やごはんやパンだけを食べている人や、作ってくれている朝ごはんを残している人もいました。</p> <p>今から、グループに分かれて「どうすれば元気の出る朝ごはんが食べられるのか」を話し合ってもらいます。机をグループ班に動かしましょう。</p> <p>話し合うことは、①自分ができること と ②家族にお願いすることについてです。</p> <p>このピンク色の付箋には「自分ができること」を、水色の付箋には「家族にお願いすること」をそれぞれマジックで書きましょう。一つではなく、思いつくことをいっぱい書きましょう。書いたら配ってある画用紙の上半分に①の自分ができること(ピンク色の付箋)を、下半分に②の家族にお願いすること(水色の付箋)を貼りましょう。最後にそれぞれ班の代表の人に、どんな意見が出たか発表してもらおうので、発表する人を決めておいてくださいね。</p> <p>ここで〇〇先生にどうすれば元気になる朝ごはんが食べられるか、ヒントをもらいましょう。</p>



10分

T2: 早寝・早起き・朝ごはんって聞いたことありますか?  
体を動かすと、おなかですくよね。 など

T1: では、書けましたね。1班から発表してください。各班の画用紙を黒板に貼る。

T1: どうすれば元気の出る朝ごはんが食べられるのか、いろいろな方法が発表されましたね。これからワークシートに「朝ごはんを食べるために明日から自分ですること」と「朝ごはんを食べるためにおうちの人をお願いすること」を書きましょう。自分ですことは、一人一つだけ書きましょう。今、それぞれの班からいろいろな方法が発表されましたね。参考にしてもいいですよ。

では、発表してほしいと思います。この列の人は①自分ができることを、次の列の人は②家族にお願いすることをと、クラスみんなに発表してもらいます。(聞きながら、板書をする。)

みなさん、一人一人が自分のがんばりたいことを決めて、発表してくれました。明日から決めたことをしてみましよう。

今日はこのワークシートをおうちへもって帰り、おうちの人に勉強したことや明日から自分ですること、おうちの人をお願いすることを伝えてください。そして、おうちの人からのお返事をもらってきてくださいね。


10 食生活アンケート

3年生 食生活アンケート 名前( )

さてはまるものに1つ選んで、○をつけてください

問1-1 朝ごはんを食べていますか。

1) 毎日食べる  
2) 1週間に食べない日が1〜3日ある  
3) 1週間に食べない日が4〜6日ある  
4) いったく食べない




問1-2 問1-1で「2」か「3」を選んだ人にお聞きします。なぜはまる理由を1つ選んでください。

1) 寝起きが悪いから  
2) 時間がないから  
3) 親まが用意されてないから  
4) 寒くないから  
5) その他( )

問2 今日の朝ごはんは朝食を食べましたが、なぜはまる理由を1つ選んでください。

1) 野菜(ごぼう、パプリカなど)だけ  
2) 野菜と汁物(みそ汁、スープなど)  
3) 食卓とおかず  
4) 血菜と汁物、おかず  
5) 食べにくい  
6) その他(パンと牛乳等)



問3 食卓を作るのができますか。

1) ご飯とおかず、おかずを作ることができる  
2) ご飯とおかずを作ることができる  
3) ご飯をとくことができる  
4) 作ることはできない

問4 食卓作りや、食卓の準備、片付けなどをやっている人は、

1) 食卓作り  
2) 週に1回以上する  
3) 月に1回以上する  
4) しない

問5 習い、習いに行きましたか。(問4で「2」か「3」を選んだ人は、4)を○をつけてください)

1) 午前8時より前  
2) 午前8時から午前9時の間  
3) 午前9時から午前10時の間  
4) 午前10時から午前11時の間  
5) 午前11時から午前12時の間  
6) 午前12時よりあと

問6 朝ごはんは誰が食べましたか。(問5で「1」を選んだ人は、4)を○をつけてください)

1) 午後8時より前  
2) 午後8時から午後10時の間  
3) 午後10時から午後11時の間  
4) 午後11時から午後12時の間  
5) 午後12時よりあと

問7 学校へ来た後、お返事をもらって、お返事を記入してください

( )

11 ワークシート



朝ごはんを食べよう!

— わん なまえ( )


★朝ごはんのはたらき

朝ごはんは(めざまし)スイッチ!

(あなた)のスイッチ (おなか)のスイッチ  
しっかり(勉強)ができる。 (うんち)がでやすくなる。

(体)のスイッチ 元気に(運動)ができる。



朝ごはんを食べるために明日からがんばりますこと

朝ごはんを食べるためにおうちの人をお願いすること

おうちの人からのお返事

12 板書計画

**朝ごはんを食べよう**

食生活アンケートの結果

○  
○  
○  
○  
○

生活リズム

運動の 絵	休養の 絵	食事の 絵
----------	----------	----------

**どうすれば元気の出る朝ごはんを食べられるの**だろう

朝ごはんの役割

頭のスイッチ 絵 しっかり勉強ができる	おなかのスイッチ 絵 元気に勉強ができる	体のスイッチ 絵 元気に運動ができる
---------------------------	----------------------------	--------------------------

元気の出る朝ごはんを食べるためには  
**がんばりたいこと**

①  
②

目覚ましスイッチがはいるごはん

1班	2班	3班	4班	5班
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②

## 小学校第4学年 学級活動学習指導案

平成 年 月 日 ( ) 第 校時

〇〇小学校 第4学年 組 名

指導者 T1

T2 栄養教諭/学校栄養職員

### 1 題材 「徳島育ちの食べ物を食べよう」

活動内容 (2) キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

### 2 題材設定の理由

#### (1) 児童観

本学級の児童は、明るく元気で体を動かして遊んだり、運動したりするのが大好きである。給食時間の様子を見ていると、全体的には残菜は少なく、しっかり食べている。苦手なものでも、工夫して食べている様子も見られる。しかし、個々を見ると、食べる量が少ない子や野菜が苦手な子もいる。また、校内に給食室があり、給食が作られる様子を児童たちは間近に見ることができることから、多くの人の努力によって給食が作られることもよく知っている。

#### (2) 題材観

学校給食や食に関する指導に地場産物を活用することは、郷土の産物を理解するとともに、地域産業や文化を理解し郷土への関心を深めることにも繋がると考えられる。

また、4年生では社会科で地域の産業について学習することから、徳島県や自分が住んでいる地域の地場産物について理解し、毎日の食事の中に使われていることを身近に感じさせたい。

#### (3) 指導観

本時では、「地産地消」という言葉の意味を伝え、なぜ地産地消が広まっているのかを考えさせたい。さらに学校給食にも地場産物が使われていることを伝え、どのようなものが使われているのか日頃の学校給食を思い出させながら考えさせたい。

### 3 題材の目標

- ・地産地消、地場産物に興味関心をもち、内容を理解することができる。
- ・自分の生活に、進んで地産地消、地場産物を取り入れようとする意欲をもつことができる。

### 4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自分の生活に、進んで地産地消、地場産物を取り入れようとしている。	地産地消をするため、自分にできることはないか考え、実践している。	地産地消、地場産物について理解している。

### 5 食育の視点

- ・地産地消、地場産物について知り、進んで食生活に取り入れようとする態度を養う。

<食事の重要性><食品を選択する能力>

### 6 指導計画

- ・本 時……学活「徳島育ちの食べ物を食べよう」
- ・事後指導……給食指導

7 本 時

(1) 目標

地産地消，地場産物について知り，生活に取り入れようとする意欲をもつことができる。

(2) 展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 地産地消，地場産物について知る。	○地産地消について知らせる。(T 1) ・言葉の意味 地：地域の 産：産物を 地：地域で 消：消費する ○地場産物について知らせる。(T 1) ・地場産物：その地域で生産された食材	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     地産地消を知って，地場産物を生活に取り入れよう！                 </div>			
展開 30分	2 給食に使われている食材を確認する。	○当日の給食に使われている主な食材を発表させる。(T 1)	
	3 食材の産地を考える。	○食品の産地を考えさせる。(T 1・T 2) ○地場産物が使われていることを知らせる。(T 2)	
	4 給食には，なぜ地場産物が使われているのか考える。	○地産地消の意味と考え合わせ，地場産物を使うことや地産地消のいいところを発表させる。(T 1) ○給食では，地産地消を進めていることを知らせる。(T 2)	
まとめ 10分	5 今日の学習を振り返り，思ったこと，分かったことをまとめ，自分の生活に取り入れるためにできることを決め，発表し合う。	○今日の学習を振り返り，思ったこと，分かったことをまとめさせる。 ○自分の生活に取り入れるためにできることを考えさせる。	【思考・判断・実践】 地産地消，地場産物について知り， <u>生活に取り入れるためにできることを考え</u> ， <u>進んで実践している</u> 。 (ワークシート)

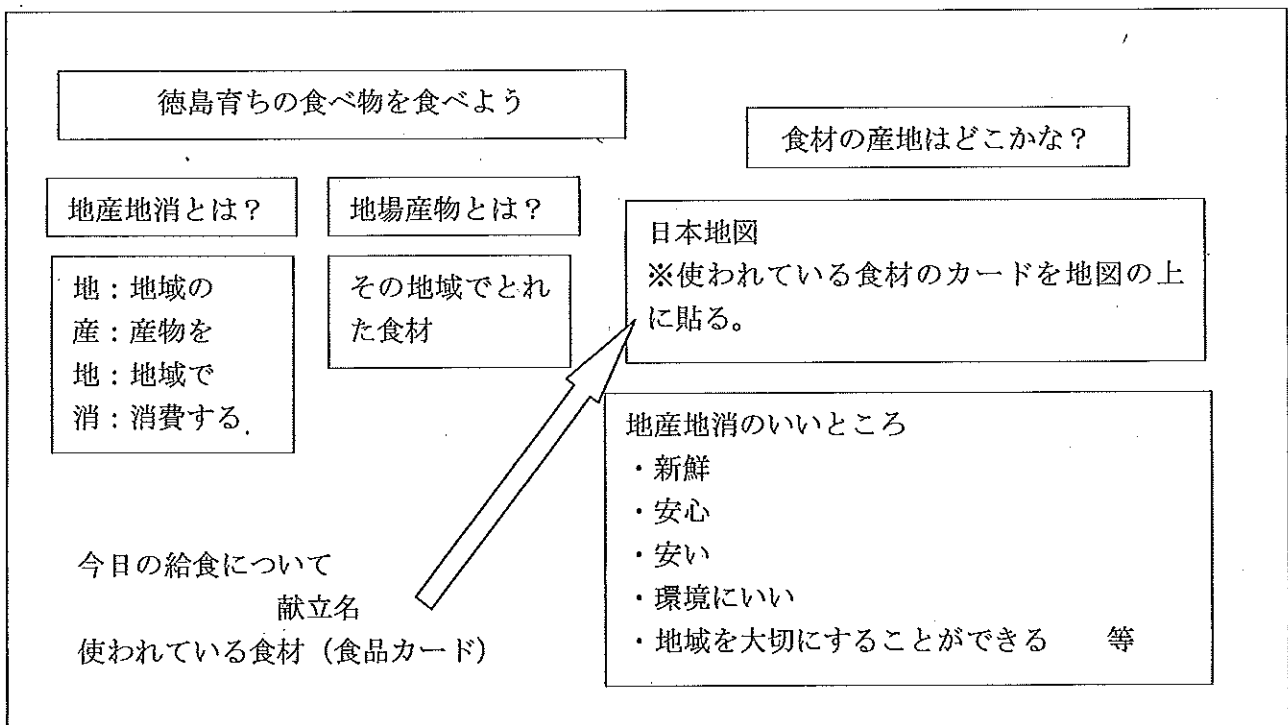
(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断させる状況	自らの食生活を振り返り，地産地消や地場産物を取り入れるためにできることを進んで考えている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	自分の生活に地産地消や地場産物を取り入れるためにできる，身近なことがらを紹介する。

## 8 指導案（展開部）細案

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	資料等
展開 30分	2 給食に使われている食材を確認する。	○当日の給食に使われている主な食材を発表させる。(T1) ※事前に給食だより等で当日の献立や食材について確認しておく。 (T1・T2) ※当日使う食材のカードや実物を用意しておく。(T2)	食品カード
	3 食材の産地を考える。	○食品の産地を確認させる。 (T1・T2) ※日本地図に、食品カードを貼り付けていく。(都道府県単位) ○地場産物が使われていることを知らせる。(T2) ※徳島県産食材が使われていることに気付かせる。	日本地図 食品カード
	4 給食には、なぜ地場産物が使われているのか考える。	○地産地消の意味と考え合わせ、地場産物を使う意義や地産地消のいいところを発表させる。(T1) ○給食では、地産地消をすすめていることを知らせる。(T2)	

## 9 板書計画



# 徳島育ちの食べ物を食べよう

年 組 名前 ( )

ち さん ち しょう      じ ぼ さん ぶ つ      し  
**地産地消・地場産物について知ろう**

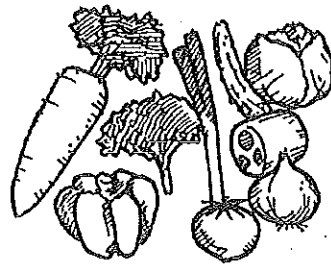
ち さん ち しょう  
☆地産地消とは☆

地:( )  
産:( )  
地:( )  
消:( )

じ ぼ さん ぶ つ  
☆地場産物とは☆

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



かんが  
☆考えてみよう☆

ち さん ち しょう  
1、地産地消には、どのようないいことがありますか？

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

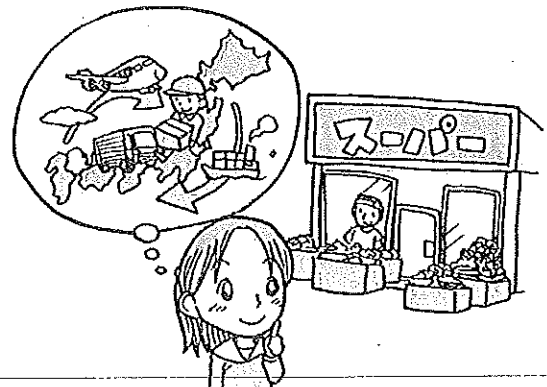
ち さん ち しょう      わたし  
2、地産地消をすすめるために、私たちにできること

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



## 小学校第5学年 学級活動指導案

平成 年 月 日 ( ) 校時

〇〇小学校 第5学年 組 名

指導者 T1

T2 栄養教諭/学校栄養職員

### 1 題材 栄養バランスのよい朝ごはんを食べよう

活動内容 (2) キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

### 2 題材設定の理由

生涯にわたり心身ともに健康に過ごすためには、食事は重要なものである。特に、朝ごはんは一日をスタートさせる食事であり、元気に活動するためには欠かすことができない。成長期の児童が朝ごはんをしっかりとすることは、望ましい食習慣の基礎を形成し、生涯にわたって健康に生活するためにも大切なことである。

今年度6月に町内の園児・児童・生徒を対象に「食に関するアンケート」をしたところ、小学校5年生においては毎日朝ごはんを食べている児童の割合は92.0%という結果であった。(〇〇小学校5年生に限っては、93.3%)また、朝ごはんに主食だけしか食べていない5年児童も42.0%おり(〇〇小学校5年生では、40.4%)、栄養バランスのとれた朝ごはんをとっているとはいえない状況である。

昨年度は「朝ごはん」に重点を置き、機会があるごとに食に関する指導を行ってきた。9月から朝会で給食委員会による朝ごはんに関するクイズを行ったり、給食指導時には栄養教諭より朝ごはんについて指導を行ったりしたため、児童は朝ごはんを食べることの大切さを理解している。そこで本題材では、朝ごはんの内容が栄養バランスのよいものになっているかを考えさせることによって、理想的な朝ごはんの内容がどのようなものであるかを気付かせたい。そして、自分の生活を振り返り、栄養バランスのよい朝ごはんをしっかりと食べようという意欲をもたせたいと考え、本題材を設定した。

### 3 題材の目標

- ・栄養バランスのよい朝ごはんの大切さを知り、毎朝きちんと食べようとする気持ちをもつことができる。

### 4 題材の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
栄養バランスのとれた朝ごはんのよさに気付き、毎朝食べようとする意欲をもっている。	どうすれば栄養バランスのよい朝ごはんを食べられるかを考えて、話し合い、実践している。	健康な生活を送るためには、栄養バランスのよい食事が大切であることを理解している。

### 5 食育の視点

- ・栄養バランスのよい朝ごはんの大切さを理解し、自ら正しい食習慣を身に付ける。〈心身の健康〉

### 6 指導計画

- ・事前・・・食に関するアンケート (6月)  
給食時指導 (3つのスイッチ)
- ・本時・・・栄養バランスのよい朝ごはんを食べよう
- ・事後・・・給食指導 学年だよりなどで本時の活動内容を紹介し、家庭への啓発を行う。

## 7 本時

### (1) 目標

栄養バランスのよい朝ごはんを食べようとする気持ちをもつことができる。

### (2) 展開

時間	学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分	1 学習の目標を知る。	T1：食に関するアンケートの結果を提示し、児童が思ったことや考えたことを発表させ、本時の学習に対する意欲を高める。	
5分	2 グループで朝ごはんの献立を考える。	T1・T2：机間指導	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     栄養バランスのよい朝ごはんを食べよう。                 </div>			
10分	3 バランスのよい朝ごはんの大切さを知る。	T2：3つのスイッチを思い出させる。 T2：理想的な朝ごはんの内容を伝える。 「黄・赤・緑の食べ物をそろえる」	
10分	4 グループで立てた朝ごはんの献立を見直す。	T2：手直しが必要な献立を2つほど選び、児童の意見を聞きながら、見直しをする。	
5分	5 栄養バランスのよい朝ごはんを考える。	T1：栄養バランスのよくない朝ごはんを提示する。 T2：朝ごはんをバランスのよいものに変え、自分たちの朝ごはんにあてはまる場所がないか考えさせる。	【知識・理解】 栄養バランスのよい朝ごはんの大切さを理解している。(観察)
10分	6 各自で目標をたて、発表し合う。	T1・T2：栄養バランスのよい朝ご飯を食べるために、自分にできることを考えさせる。	【関心・意欲・態度】 栄養バランスのよい朝ごはんを食べようとする意欲をもつことができている。(ワークシート・発表)

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	栄養バランスのとれた朝ごはんの大切さが分かり、毎朝きちんと食べようとする意欲をもっている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	机間巡視し、栄養バランスの大切さを理解させたり、自分の朝ごはんを振り返らせたりし、毎朝きちんと食べようとする意欲につなげる。

## 8 他教科等との関連

家庭科「元気な毎日と食べ物」において、栄養バランスのとれた食事の重要性について再度確認できるようにする。

9 指導細案

時間	指導者の支援等	児童の反応・活動
5分	<p>T1: みなさん、朝ごはんは食べてきましたか？          たくさんの方が食べてきているようですね。6月に「食に関するアンケート」を実施しましたが、その結果、〇〇小学校5年生で朝ごはんを毎日食べている人は●●%でした。          この結果を見て、どう思いますか。          テストで●●点を取るとヤッターと思うかもしれませんが、朝ごはんは100点、いつも食べてきてほしいなと思います。</p>	<p>(机はグループにしておく)</p> <p>(挙手) (発表)</p>
5分	<p>T1: 普段の朝ごはんに近いものを、この中(献立表)から選び、絵カードをホワイトボード貼っていきましょう。(4分)          できたグループから、ホワイトボードを黒板に貼りましょう。</p>	<p>(ミニホワイトボード・ペン・献立表を取る。)</p> <p>(活動が終わったら、机前向き。絵カード・ホワイトボードも片付ける。)</p>
10分	<p>T1: いろいろな献立がそろいましたね。朝ごはんを食べるといいことがあるみたいですよ。栄養教諭の先生に聞いてみましょう。          T2: この前、給食時間にお話ししたことを思い出してください。          3つのスイッチをONにすると、1日元気に過ごせるよとお話ししました。実は、それぞれのスイッチをONにするのが得意な食べ物があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強に集中するための頭のスイッチ              →黄色の食べ物(ごはん・パン・麺類)</li> <li>・しっかり運動するための体のスイッチ              →赤色の食べ物(肉・魚・卵・豆製品)</li> <li>・体の中のいらぬものを外に出すおなかのスイッチ              →緑色の食べ物(野菜・果物)</li> </ul> <p>3つのスイッチをONにして、1日を元気に過ごすためには、黄色・赤色・緑色の食べ物すべて食べなくてははいけません。</p>	<p>(ワークシート)</p> <p>3つのスイッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭のスイッチ</li> <li>・体のスイッチ</li> <li>・おなかのスイッチ</li> </ul>
5分	<p>T2: みなさんの朝ごはんは3つのスイッチがONになるでしょうか？(手直しが必要な献立を選び) この朝ごはんを直してみよう。</p>	<p>(発表)</p>
5分	<p>T1: (ワークシート配布)</p>	<p>(ワークシート上半分記入)</p>
5分	<p>T2: (ワークシート説明)</p>	
5分	<p>T2: 担任の先生は、今日の朝ごはんは何を食べたのですか？          T1: 今日は朝時間がなかったので、パンだけしか食べられませんでした。4時間目はとっってもおなかがすいていました。(画像貼る)          T2: みなさん、この朝ごはんはどうですか？3つのスイッチがONになっていたでしょうか？担任の先生の朝ごはんをよいものに変えてください。</p>	<p>(発表)</p>
10分	<p>T1: みんな、先生の朝ごはんがよいものになるように考えてくれてありがとう。明日からは、みなさんが考えてくれたように、黄・赤・緑の食べ物がそろった朝ごはんを食べてきます。          みなさんの毎日の朝ごはんはどうですか？3つのスイッチがONにできるような朝ごはんを食べていますか？ぜひ、明日の朝から3つの色がそろった朝ごはんを食べましょう。          T1: では、ワークシートに栄養バランスのよい朝ご飯を食べるために自分でできることを書きましょう。</p>	<p>(ワークシート下半分記入)</p> <p>(発表)</p>



10 板書計画

栄養バランスのよい	朝ごはんを食べよう！	
朝食摂取率 円グラフ	頭のスイッチ	理想的な朝ごはんは… 黄色の食べ物 赤色の食べ物 がそろったもの 緑色の食べ物
体のスイッチ	おなかのスイッチ	
担任の朝ごはん ○…………… ○…………… ○…………… (児童が発表した意見を書く)		(グループ活動のミニホワイトボード)

11 ワークシート

## 栄養バランスのよい朝ごはんを食べよう

5年 組 \_\_\_\_\_

★ 朝ごはんを食べると、3つのスイッチがON！

(            )のスイッチ……………勉強に集中できます

(            )のスイッチ……………元気に動くことができます

(            )のスイッチ……………おなかがすっきりします

★ 理想的な朝ごはんは…

(            )色の食べ物 + (            )色の食べ物 + (            )色の食べ物

ごはんやパン めん類など	肉や魚、たまご や豆製品など	野菜や くだものなど
-----------------	-------------------	---------------

★ 栄養バランスのよい朝ごはんを食べるために、自分ですること

★ 栄養バランスのよい朝ごはんを食べるために、おうちの人をお願いすること

★ おうちの人から